

平成30年度  
事業報告書

※【】：前年度実績

# 平成30年度事業報告

## I 事業報告の概要

近年、我が国では少子・高齢化や核家族化、さらには個人の価値観の多様化といった社会情勢の変化が進行するなか、特に高齢者世帯や単身世帯を中心に社会的孤立や経済的困窮に起因する地域の福祉課題は複雑多様化するとともに複合化してきた。

このような状況のなか、本会では、「第二次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」に基づき、行政をはじめ地域住民、社会福祉を目的とする関係施設や団体等と協働し、「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」を基本理念として、地域福祉の充実に向けた事業を積極的に推進実施した。

併せて、本会中期経営計画となる「防府市社会福祉協議会発展・強化計画」に基づき、法人運営、地域福祉、生活支援の各部門により事業に積極的に取り組んだ。

平成30年度における重点項目と具体的事業の展開は以下のとおりである。

## II 重点項目

### 1 第二次防府市地域福祉活動計画の推進

「ひとづくり」・「環境づくり」・「システムづくり」の着実な推進

第二次地域福祉活動計画については、地域福祉推進のための取り組みとして5年間の実施目標計画に基づき、単年度事業計画に反映させて事業を遂行した。

また、外部委員で構成する防府市地域福祉推進協議会で実施目標計画の目標達成度を評価することで進捗状況の確認等を行った。

### 2 防府市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

法人運営部門・地域福祉部門・生活支援部門の着実な推進

発展・強化計画については、事業経営・経営ビジョンや目標を明確にし、その実現に向けて5年間の組織、事業、財務等に関する取り組みを単年度事業計画に反映させて事業を遂行した。

この計画の評価については、平成30年度は計画の3年目にあたることから主に検討・実施した。(報告書別紙)

### 3 小地域福祉活動事業の展開強化

地区社会福祉協議会の支援、小地域福祉活動の強化

地区社会福祉協議会の支援については、地区社会福祉協議会会長会議を4回開催し、理事会の報告や第三次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定、情報交換等を行った。(うち1回は岩国市社会福祉協議会由宇支部の視察研修を実施。)

小地域福祉活動の強化については、地区社会福祉協議会と一体となって生活関連業者や関係団体、住民と連携した見守り活動の仕組みづくりなど、小地域における見守りネットワーク活動の推進を行った。

#### 4 地域における総合相談・生活支援体制の強化、確立

防府市自立相談支援センターの充実強化、コミュニティソーシャルワーカーの拡充  
地域の社会福祉法人・社会福祉施設等との連携・協働

自立相談支援センターについては、主任相談支援員、相談支援員・就労支援員、家計改善支援員の相談体制により事業の体制強化に努めた。食糧支援については、フードバンク山口と連携してフードバンクやフードドライブに取り組むとともに、新たにフードバンクポストの設置に協力した。

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置については、職員を複数体制として要援護者に対する個別支援や住民活動のコーディネートに取り組んだ。

地域の社会福祉法人・社会福祉施設等との連携・協働については、社会福祉法人の公益的な取組として、地域のニーズに基づく地域公益活動を行う組織体として防府市社会福祉連絡協議会の設置に向け準備をしてきたが設立には至らなかった。

#### 5 経営管理（ガバナンス）の強化と経営の透明性の確保

組織体制の整備、活動財源の確保

組織のガバナンス強化を図るため、理事会及び評議員会を開催して事業計画、事業報告及び諸規程等の改正を審議するとともに重要事項を報告し、評議員選任・解任委員会においては新たに評議員を選任した。また、平成30年9月28日に所轄庁（福祉指導監査室）による社会福祉法人指導監査を受け、指導事項について改善を図り、法人運営の健全化や事業運営の適正化に努めた。

活動財源の確保については、財政基盤の強化を図るため会費及び寄付金等の活動財源に努め、特に寄付金の使途を啓発するなど寄付金の確保に向けて取り組んだが、香典返しによる寄付金は葬儀方法の変化等により成果が出せなかった。

### Ⅲ 具体的事業

#### 【法人運営部門】

#### 1 法人運営事業

72,907,606 円

##### 1-1 法人運営事業

防府市社会福祉協議会を円滑に運営していくために、次の事業を実施した。

##### (1) 組織体制の整備

##### ①会員の増強

事業報告			評 価																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>会員別</th> <th>対象数</th> <th>会費総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会員</td> <td>全世帯</td> <td>12,811,800円 【12,850,200円】</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">団体会員</td> <td>地区社協</td> <td>15団体 【15団体】</td> <td>45,000円 【45,000円】</td> </tr> <tr> <td>福祉団体</td> <td>26団体 【25団体】</td> <td>52,000円 【50,000円】</td> </tr> <tr> <td>施設団体</td> <td>25団体 【26団体】</td> <td>75,000円 【78,000円】</td> </tr> <tr> <td>連合団体</td> <td>6団体 【6団体】</td> <td>30,000円 【30,000円】</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>5,635口 【6,234口】</td> <td>2,817,515円 【3,117,410円】</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>27口 【36口】</td> <td>135,000円 【180,000円】</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>15,966,315円 【16,350,610円】</td> </tr> </tbody> </table>			会員別	対象数	会費総額	一般会員	全世帯	12,811,800円 【12,850,200円】	団体会員	地区社協	15団体 【15団体】	45,000円 【45,000円】	福祉団体	26団体 【25団体】	52,000円 【50,000円】	施設団体	25団体 【26団体】	75,000円 【78,000円】	連合団体	6団体 【6団体】	30,000円 【30,000円】	特別会員	5,635口 【6,234口】	2,817,515円 【3,117,410円】	賛助会員	27口 【36口】	135,000円 【180,000円】	合 計		15,966,315円 【16,350,610円】	<p>会費は合計では対前年度比で384,295円減少した。主に、特別会費が前年度比で299,895円、賛助会費が45,000円減少した。特別会員及び賛助会員の協力について支援を求めたい。</p>
会員別	対象数	会費総額																													
一般会員	全世帯	12,811,800円 【12,850,200円】																													
団体会員	地区社協	15団体 【15団体】	45,000円 【45,000円】																												
	福祉団体	26団体 【25団体】	52,000円 【50,000円】																												
	施設団体	25団体 【26団体】	75,000円 【78,000円】																												
	連合団体	6団体 【6団体】	30,000円 【30,000円】																												
特別会員	5,635口 【6,234口】	2,817,515円 【3,117,410円】																													
賛助会員	27口 【36口】	135,000円 【180,000円】																													
合 計		15,966,315円 【16,350,610円】																													
<p>※特別会員の会費総額は、一部の地区社協から端数入金があったため 〔年額会費〕</p> <table> <tbody> <tr> <td>一般会員</td> <td>1世帯</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>団体会員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地区社協</td> <td>1団体</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>福祉団体</td> <td>1団体</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td>施設団体</td> <td>1団体</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>連合団体</td> <td>1団体</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>1口</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>1口</td> <td>5,000円</td> </tr> </tbody> </table>			一般会員	1世帯	300円	団体会員			地区社協	1団体	3,000円	福祉団体	1団体	2,000円	施設団体	1団体	3,000円	連合団体	1団体	5,000円	特別会員	1口	500円	賛助会員	1口	5,000円					
一般会員	1世帯	300円																													
団体会員																															
地区社協	1団体	3,000円																													
福祉団体	1団体	2,000円																													
施設団体	1団体	3,000円																													
連合団体	1団体	5,000円																													
特別会員	1口	500円																													
賛助会員	1口	5,000円																													

②評議員会及び役員会等の開催

事業報告	評 価
<p>1 三役会の開催</p> <p>平成30年 4月 2日            平成30年 5月21日            平成30年 6月 7日            平成30年 7月 2日            平成30年 8月 2日            平成30年 9月 3日            平成30年10月 4日            平成30年11月 5日            平成30年12月 3日            平成31年 1月 4日            平成31年 2月 4日            平成31年 2月21日            平成31年 3月 4日</p>	<p>三役会を毎月開催し、事業や予算の執行等について協議した。</p> <p>今後も定期的開催を継続し、情報共有に努めたい。</p>
<p>2 理事会の開催</p> <p>平成30年 5月31日</p> <p>報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について            議案第1号 平成29年度事業報告について            議案第2号 平成29年度資金収支決算について            監査報告            議案第3号 平成30年度資金収支補正予算（第1回）について            議案第4号 地区社会福祉協議会規程全部改正について            議案第5号 個人情報保護規程中改正について            議案第6号 定時評議員会の招集について</p> <p>平成30年10月29日</p> <p>報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について            報告第3号 平成30年度事業実施状況及び予算執行状況について            議案第7号 職員給与規程中改正について            議案第8号 職員就業規則中改正について            議案第9号 嘱託職員就業規則中改正について            議案第10号 臨時職員就業規則中改正について            議案第11号 評議員選任・解任委員会の招集について            議案第12号 評議員会の招集について</p>	<p>理事会は3回開催し、全議案の承認を得た。</p> <p>会長及び常務理事の職務執行状況について3回報告した。</p> <p>社会福祉法人指導監査の結果について報告した。</p> <p>また、監事の交代に伴い、評議員選任・解任委員を選任した。</p>

- 議案第 13 号 監事候補者の提案について
- 議案第 14 号 評議員候補者の提案について
- 議案第 15 号 評議員選任・解任委員の選任について

平成 31 年 3 月 15 日

- 報告第 4 号 会長及び常務理事の職務執行状況について
- 報告第 5 号 資金収支流用予算（第 1 回）の報告について
- 報告第 6 号 社会福祉法人指導監査結果の報告について
- 報告第 7 号 評議員選任・解任委員会の報告について
- 議案第 16 号 平成 30 年度資金収支補正予算（第 2 回）について
- 議案第 17 号 平成 31 年度事業計画について
- 議案第 18 号 平成 31 年度資金収支予算について
- 議案第 19 号 役員等の報酬及び費用弁償規程中改正について
- 議案第 20 号 職員給与規程中改正について
- 議案第 21 号 事務決裁規程中改正について
- 議案第 22 号 職員就業規則中改正について
- 議案第 23 号 嘱託職員就業規則中改正について
- 議案第 24 号 臨時職員就業規則中改正について
- 議案第 25 号 職員の非違行為に係る懲戒処分等の基準中改正について
- 議案第 26 号 評議員会の招集について

### 3 評議員会の開催

平成 30 年 6 月 19 日（定時評議員会）

- 報告第 1 号 地区社会福祉協議会規程全部改正について
- 議案第 1 号 平成 29 年度事業報告について
- 議案第 2 号 平成 29 年度資金収支決算について
- 監査報告
- 議案第 3 号 資金収支補正予算（第 1 回）について

平成 30 年 11 月 19 日

- 報告第 2 号 評議員選任・解任委員会の報告について
- 報告第 3 号 平成 30 年度事業実施状況及び予算執行状況について
- 議案第 4 号 監事の選任について

平成 31 年 3 月 25 日

- 報告第 4 号 資金収支流用予算（第 1 回）の報告について
- 報告第 5 号 社会福祉法人指導監査結果の報告について
- 議案第 5 号 平成 30 年度資金収支補正予算（第 2 回）につ

6 月 19 日の定時評議員会を含め 3 回開催し、全議案の承認を得た。

また、定時評議員会において、平成 29 年度決算にかかる社会福祉充実残額について報告した。

監事の辞任に伴い、後任の監事を選任した。

役員等の報酬及び費用弁償規程を改正し、役員報酬の基準を変更した。



<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人防府市社会福祉協議会事務決裁規程</li> <li>・社会福祉法人防府市社会福祉協議会職員の非違行為に係る懲戒処分等の基準</li> </ul>	
--	--

#### ⑤組織運営の強化

事業報告	評価
<p>社会福祉協議会は高い公益性が求められる社会福祉法人として、組織のガバナンス強化を図るため諸規程等の改正を行った。定款、事業計画、資金収支計算書等を事務所に備え置き、併せてホームページにおいても現況報告書を公表するなど経営の透明性の確保に努めた。</p> <p>また、平成30年度中に生活困窮者自立支援事業等の嘱託職員退職に伴い、新たに職員採用して事務局体制の整備に努めた。</p>	<p>今後も組織のガバナンス強化を図り、事務局体制の整備や適正な人員配置等に努めたい。</p>

#### ⑥広報啓発活動

事業報告	評価
<p>1 広報紙「社協だより防府」の発行配布  (1) 発行回数 年6回で偶数月の15日  (2) 発行部数 各回48, 500部印刷で全戸配布</p> <p>2 ホームページの開設  ホームページ「“元気”を支えるあたたかい福祉のまちづくり」により社協情報を提供した。(http://hofushishakyo.jp/)</p>	<p>市民に対する社協の認知度を向上させるため、福祉情報を定期的あるいは随時提供した。今後は情報内容を更に充実させたい。</p>

### (2) 財務状況の適正化

#### ①会計及び財務管理等の適正な実施

事業報告	評価
<p>透明性の確保と効果的・効率的な経営を目指すため、経理規程に則り会計処理や金銭管理について会計責任者、出納責任者、会計職員が内部牽制を機能させることで適正に実施するとともに、社会福祉法人指導監査による指導事項について改善を図った。</p>	<p>今後も新会計基準に基づいた会計及び財務管理等の適切な管理体制に努めたい。</p>

#### ②新規事業等の活用

事業報告	評価
<p>新規事業等については、山口県社会福祉協議会補助事業等の情報収</p>	<p>今後も県社協補助事業等</p>



集に努めたが、平成30年度においてはモデル事業等で既存事業に活用できる事業はなかった。	を情報収集し活用できる事業については積極的に取り組むとともに事業費も確保したい。
---	--

### ③効果的な事業の実施

事業報告	評 価
事業を実施する上において、事業の充実や発展を図ることを目指して事業に取り組み、次年度に向けて効果的な事業展開ができるよう事業評価を意識して事業を実施した。	引き続き事業実施状況を把握し、効果的な事業の実施に努めたい。

### (3) 人事管理の適正化

#### ①労務管理の適正化

事業報告	評 価
安心して働ける職場づくりを目指し、職場環境の改善を図るため働き方改革に伴い関係諸規程について改正し整備を図った。また、適切な労務管理を把握していくため、人事評価制度の導入に向けて試行的に実施した。	今後も職員の働きやすい環境に配慮していくため、労務管理の適正化に努めたい。

#### ②職員の育成

事業報告	評 価
平成30年 7月10日 市町社協事務局長会議 山口市 参加人員 1人	法人運営事業に関する研修等を計画に基づき実施した。
平成30年 7月27日 職場のメンタルヘルスマネジメント研修会 山口市 参加人員 1人	
平成30年 9月18日 メンタルヘルス講習会 山口市 参加人員 1人	
平成30年10月10日 市町社協総務部課長・担当職員会議 山口市 参加人員 1人	
平成31年 1月10日 社協の広報力強化研修会 山口市 参加人員 1人	

(4) 表彰等に関する事業

事業報告	評 価
<p>永年にわたり社会福祉の発展に貢献された方及び団体を推薦し、各大会において表彰した。</p> <p>1 第36回防府市総合社会福祉大会 平成30年 9月 7日 防府市公会堂 防府市社会福祉協議会会長表彰 ・社会福祉事業一般功労者 25人、一般功労団体 1団体 ・社会福祉事業協助者 1人、協助団体 1団体 防府市社会福祉事業団理事長表彰 ・社会福祉事業協助団体 2団体 防府市老人クラブ連合会会長表彰 ・一般功労者 3人 防府市障害福祉団体連合会会長表彰 ・特別功労者 1人 ・一般功労者 1人</p> <p>2 第68回山口県総合社会福祉大会 平成30年10月31日 萩市 参加人員 22人【20人】 山口県知事表彰 ・社会福祉事業功労者 1人 山口県社会福祉協議会会長表彰 ・社会福祉事業功労者 2人 山口県共同募金会会長表彰 ・共同募金運動奉仕従事者 10人 山口県民生委員児童委員協議会会長表彰 2人</p>	<p>今後も多年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々を表彰し、敬意と感謝の意を表したい。</p>

## 1-2 社会福祉援助技術現場実習の受入

社会福祉士受験資格の取得を目指す学生の実習を受け入れた。

事業報告	評 価
<p>1 福祉系大学等の受入れ (1) 山口県立大学 平成30年 8月17日～ 9月 7日 (15日間) ※土・日曜日、8月29日を除く</p>	<p>社会福祉事業者としての責務である後進の育成に努めた。</p>

受入人員 3人	
2 ソーシャルワーク実習指導Ⅲへの参加 平成30年 6月28日 山口市 参加人員 1人	
3 ソーシャルワーク実習Ⅱ実習報告会及び連絡協議会への参加 平成30年11月29日 山口市 参加人員 1人	
4 ソーシャルワーク実習指導者研修会 平成30年12月 7日 山口市 参加人員 1人	

### 1-3 福祉センター運営事業

防府市社会福祉協議会事務局のある防府福祉センターを福祉活動の拠点として、会場及び福祉用具等の貸し出しを行い、利用者の便宜を図った。

#### (1) 福祉センターの利用促進

事業報告	評 価
<p>1 福祉センター貸館による福祉団体・ボランティア活動の場の提供 防府福祉センター利用状況（年間）</p> <p>1, 605件【 1, 671件】 22, 087人【 21, 530人】</p> <p>[内訳]</p> <p>第1相談室（1階16号室） 287件【 355件】 270人【 298人】</p> <p>第1教養娯楽室（2階17号室） 102件【 108件】 2, 760人【 2, 702人】</p> <p>第2・第3教養娯楽室（2階14号室・15号室） 265件【 292件】 1, 170人【 1, 335人】</p> <p>第2研修室（2階18号室） 146件【 164件】 2, 523人【 2, 485人】</p> <p>福祉団体・ボランティア団体室（3階7号室） 323件【 293件】 4, 679人【 4, 409人】</p>	<p>福祉団体・ボランティア団体等への利用促進を図った。今後も福祉センターの部屋の有効活用に努めた。</p>

<p>第3研修室（3階8号室）  214件【 209件】  3,665人【 3,208人】</p> <p>会議室（3階9号室）  268件【 250件】  7,020人【 7,093人】</p> <p>2 福祉センター憩いの場（老人趣味サークル及び囲碁・将棋）の提供</p> <p>(1) 老人趣味サークル  囲碁、シルバー社交ダンスクラブ</p> <p>(2) 囲碁、将棋コーナー  第2・第3教養娯楽室（2階14号室・15号室）  毎週月～土曜日の午後 囲碁・将棋  利用日数 265日【 292日】  利用人数 1,170人【1,335人】</p>	<p>高齢者の生きがいづくりと閉じこもり予防につながるとともに交流も深めることができた。</p>
---	--

## (2) 福祉機器の貸出

事業報告	評価
<p>車いす、松葉杖、杖及び器材貸出事業  貸出件数 463件【363件】  〔内訳〕  車いす（145件）、松葉杖・杖（55件）、高齢者擬似体験セット（11件）、アイマスク（13件）、点字器（6件）、白杖（2件）、テント（8件）、放送機器（3件）、体育用具（12件）、腕章（4件）、リボン（4件）、レクリエーション器材（173件）、机（2件）、いす（2件）、金種選別機（1件）、妊婦疑似体験セット（2件）、ハンドベル（20件）</p>	<p>車いすや松葉杖等は在宅における一時的な生活の不便を解消する一助となっている。無料貸し出しではあるが、御礼が寄付金につながっている。今後も利用促進に努めたい。</p>

## 1-4 苦情解決への対応

### (1) 苦情解決窓口及び苦情解決第三者委員の活用

事業報告	評価
<p>福祉サービスが適切に提供されるよう苦情解決窓口及び苦情解決第三者委員を設置して、福祉サービス利用者からの苦情に対し、適切な対応をしていくことで、福祉サービスへの利用者の満足度を高めると</p>	<p>福祉サービス利用者に苦情解決窓口及び苦情解決第三者委員の設置を周知した</p>

ともに利用者個人の権利を擁護できるようにした。 福祉サービス利用者からの苦情の受付はなかった。	い。
--	----

## 2 善意銀行事業

33,226 円

地域福祉活動を推進するため、香典返し、チャリティー及びチャイルドシート等福祉用具の貸し出しに伴う御礼及び善意の箱等への市民から心あたたまる寄付金等を善意銀行の財源とし、地域福祉活動推進事業やボランティア育成事業等に活用した。

### (1) 善意銀行事業の強化

事業報告	評 価
寄付金は予算額に対して決算額は毎年度厳しい状況にあることから、寄付金を確保するための新たな手法として県内外の社会福祉協議会等での取組状況の把握に努めた。	引き続き安定的に寄付金が確保できるよう新たな手法の研究に努めたい。

### (2) 善意銀行事業の啓発

事業報告	評 価																											
<p>1 金銭寄付</p> <table border="0"> <tr> <td>件数及び金額</td> <td>322件【</td> <td>344件】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4,470,510円【</td> <td>7,962,731円】</td> </tr> <tr> <td>[内訳]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>香典返し</td> <td>15件【</td> <td>25件】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,160,000円【</td> <td>2,155,000円】</td> </tr> <tr> <td>一般寄付</td> <td>235件【</td> <td>244件】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,780,234円【</td> <td>4,204,439円】</td> </tr> <tr> <td>善意の箱</td> <td>72件【</td> <td>74件】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>530,276円【</td> <td>468,292円】</td> </tr> </table> <p>2 物品寄付</p> <p>件数 84件【98件】</p> <p>[内訳]</p> <p>お菓子（17件・38箱）、紙おむつ（17件・42袋） おしりふき（2件・6個）、チャイルドシート（3件・8台） 清拭料（1件・1個）、車椅子（6件・6台）大人用歩行器（1件・1台）、ベビーカー（4件・4台）、ベビーバウンサー（2件・2台）、テーブルチェア（1件・1台）、抱っ</p>	件数及び金額	322件【	344件】		4,470,510円【	7,962,731円】	[内訳]			香典返し	15件【	25件】		1,160,000円【	2,155,000円】	一般寄付	235件【	244件】		2,780,234円【	4,204,439円】	善意の箱	72件【	74件】		530,276円【	468,292円】	<p>金銭寄付は寄付件数が対前年度比で22件減少し、寄付金額も大きく減少した。寄付金の主旨をPRするとともに社協の活動や地域福祉活動への理解促進を図り、増額につなげたい。</p> <p>物品寄付は社協だよりの「お譲りします」に掲載し、希望者に譲渡した。今後も有効に活用したい。</p>
件数及び金額	322件【	344件】																										
	4,470,510円【	7,962,731円】																										
[内訳]																												
香典返し	15件【	25件】																										
	1,160,000円【	2,155,000円】																										
一般寄付	235件【	244件】																										
	2,780,234円【	4,204,439円】																										
善意の箱	72件【	74件】																										
	530,276円【	468,292円】																										

<p>こひも（1件・1個）、ポータブルトイレ（4件・4台）          シルバーカー（5件・5台）ベビー用歩行器（1件・1台）          ジュース（6件・30箱）、1本杖（1件・2本）、四点杖          （1件・2本）、お手玉（1件・100個）、うちわ（1件・          100本）、箱ティッシュ（1件・55箱）、ベビーベッド          （2件・2台）、尿とりパッド（5件・11袋）、ベビー用          紙おむつ（1件・1袋）</p>	
--	--

(3) 印刷サービスの実施

事業報告	評 価
<p>香典返しの寄付者に対し、寄付行為のお礼はがきを寄付金額に応じて印刷した。</p> <p>1 依頼件数        6件【        9件】</p> <p>2 依頼枚数    452枚【 810枚】</p>	<p>お礼はがきの印刷は寄付件数の減少に伴い、対前年度比で3件減少した。今後も利用促進に努めたい。</p>

(4) 善意の箱の設置拡充

事業報告	評 価
<p>市民が気軽に寄付できる環境をつくるとともに自主財源の確保として、新たにスーパーへ善意の箱を設置するとともに、現在の協力店へ引き続き協力を依頼した。</p> <p>設置総数    67か所【66か所】</p>	<p>善意の箱の設置箇所は1か所増加した。今後も協力店を開拓したい。</p>

(5) 寄付金による事業の研究

事業報告	評 価
<p>指定寄付等による寄付金の寄付者の意向に応じた事業について、県内外の市社会福祉協議会における指定寄付等による事業の取り組みを研究した。</p>	<p>寄付者の意思が事業に反映されることから、引き続き研究していきたい。</p>

## 【地域福祉部門】

### 1 地域福祉活動推進事業

11,640,896円

「福祉の輪づくり運動（困ったときにお互いが助け合える組織を地域でつくろう）」を基本とした地域福祉活動を推進するため、地域住民の参加と行政や関係団体等の協力を得て推進組織である各地区社会福祉協議会の活動支援並びに組織の充実強化に努めた。

#### (1) 防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画の実践

事業報告	評価
<p>1 防府市地域福祉推進協議会の開催 平成30年 7月10日 防府市文化福祉会館</p>	<p>今後も市と市社協の協働により、計画の事業内容及び進捗状況を確認しながら取り組む必要がある。</p>
<p>2 防府市地域福祉連絡会の開催 防府市地域福祉連絡会の開催に代えて、防府市各課からの取組状況等の報告を受けて内容を把握した。</p>	<p>計画の進捗状況の評価には、連絡会議の開催は必要である。</p>

#### (2) 地区社会福祉協議会の支援

##### ①地区社会福祉協議会研修会及び地域福祉活動計画のフォローアップ

事業報告	評価
<p>地域福祉活動計画を活用して地区社会福祉協議会活動（地区社会福祉協議会研修会）を支援した。</p> <p>平成30年 4月28日 右田地区社会福祉協議会 右田公民館 参加人員 87人【91人】</p> <p>平成30年 5月14日 西浦地区社会福祉協議会 西浦公民館 参加人員 51人【56人】</p> <p>平成30年 5月14日 大道地区社会福祉協議会 防府あかり園 参加人員 90人【90人】</p> <p>平成30年 6月14日 松崎地区社会福祉協議会 松崎公民館 参加人員 46人【60人】</p> <p>平成30年 6月20日 勝間地区社会福祉協議会 済生会山口ケアセンター 参加人員 27人【38人】</p> <p>平成30年 6月20日 野島地区社会福祉協議会 野島漁村センター 参加人員 30人【30人】</p>	<p>地区社協の研修内容について相談に応じ開催を支援した。</p> <p>研修会をとおして、福祉活動の人材育成と活動する地域を再確認することができた。</p> <p>研修会の実施により福祉活動を実践する人材の確保に努めたい。</p>

平成30年 7月 4～ 5日 華城地区社会福祉協議会 福岡県八女市社会福祉協議会 参加人員 24人【24人】	
平成30年 7月 7日 小野地区社会福祉協議会 小野公民館 参加人員 50人【60人】	
平成30年 7月24日 佐波地区社会福祉協議会 佐波公民館 参加人員 54人【58人】	
平成30年10月11日 牟礼地区社会福祉協議会 牟礼公民館 参加人員 100人【60人】	
平成30年10月15日 華浦地区社会福祉協議会 特別養護老人ホーム温泉ホーム日吉台 参加人員 38人【43人】	
平成30年11月20日 新田地区社会福祉協議会 柳井ひまわり園 参加人員 42人【43人】	
平成30年12月 8日 中関地区社会福祉協議会 中関公民館 参加人員 72人【69人】	
平成31年 2月22日 向島地区社会福祉協議会 向島公民館 参加人員 40人【40人】	
平成31年 2月27日 富海地区社会福祉協議会 富海公民館 参加人員 60人【20人】	

②地区社会福祉協議会会長会議等の開催

事業報告	評価
<p>防府市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の連携強化を図るため、定期的に地区社会福祉協議会会長会議及び情報交換会を開催した。</p> <p>平成30年 4月23日（第1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度市社協の事業について</li> <li>・平成30年度市社協会費のお願いについて</li> <li>・平成30年度地区社協への助成金等について</li> </ul> <p>平成30年 8月 3日（第2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩国市社協由宇支部視察研修 「つなぐ、高める、創り出す、社協のチカラと可能性」</li> </ul> <p>平成30年12月12日（第3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度市社協理事会の報告について</li> <li>・平成30年度市社協事業の報告について</li> <li>・平成31年度福祉員・友愛訪問グループ員の改選について</li> </ul>	<p>地区社協会長会議を定期的に行うことで、市社協と地区社協の連携を深めた。</p> <p>他地区の先駆的な活動を取り入れることができた。</p> <p>今後も定期的に行うとともに、県内で実施されている福祉の輪づくり運動の取り組み等の情報提供に努めたい。</p>



<p>平成31年 3月 7日 (第4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30度市社協事業の報告について</li> <li>・平成31年度市社協会費について</li> </ul>	
---	--

③福祉員及び友愛訪問グループ員活動（友愛訪問活動促進事業）の支援

事業報告	評価
<p>地区内の福祉問題を把握して関係者への連絡や協力を促していく福祉員の活動及び在宅ひとり暮らし高齢者への見守りや訪問する友愛訪問グループ員の活動を支援した。</p> <p>1 福祉員 292人【292人】</p> <p>2 友愛訪問グループ員 299グループ(709人) 【299グループ(709人)】</p> <p>3 在宅ひとり暮らし高齢者 5,167人【5,005人】</p>	<p>各地区での研修会や個別相談等を通じて活動目的や内容の周知に努め、これまでの見守り活動等が継続されるよう支援を行った。</p>

(3) 小地域福祉活動の強化

①地域見守り・支え合い体制強化事業の実施

事業報告	評価
<p>1 生活関連事業者や関係団体、住民と連携した見守り活動の仕組みづくりの支援</p> <p>在宅ひとり暮らし高齢者等が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう民間事業者及び福祉専門職等が連携して実施した。</p> <p><b>【地域包括ケア会議】</b></p> <p>(1) 参加者</p> <p>自治会連合会長、自治会福祉部長、老人クラブ会長、地区社協(福祉員、友愛訪問グループ員)、民児協会会長、医師会、薬剤師会、理学療法士、作業療法士、ケアマネージャー、ヘルパー、デイサービス関連事業者、小規模多機能施設、障害相談支援事業所、社会福祉士、地域包括支援センター、高齢福祉課、市社協職員</p> <p>(2) 開催日</p> <p>平成30年10月11日 佐波公民館</p> <p>平成30年10月25日 牟礼公民館</p>	<p>実際に地域で起きている事例について共に考え、誰もが住み慣れた地域で暮らせるよう、意見を出し合う会議を開催することができた。小地域福祉活動の継続的な支援が必要である。</p>

<p>2 医療・福祉との連携による見守り困難事例への体制づくりの支援  はあとふるねっと（防府市の高齢者を支える介護・医療の関係による地域包括ケアシステムを考える会）及び高齢者虐待防止ネットワーク（関係団体相互の情報交換、連携協力、高齢者虐待の予防、早期発見、早期対応及び再発防止）に参加した。</p> <p>3 見守り活動等の担い手研修会  地域の見守り活動を実施する際の具体的な支援について、地域福祉（福祉の輪づくり運動）推進セミナーを開催した。  平成31年 1月23日 防府市文化福祉会館  参加人員 147人【350人】</p> <p>〔内容〕  演題 「福祉の輪づくり運動と地域共生社会について」  講師 山口県社会福祉協議会 常務理事 澤村有利生 氏</p>	
--	--

②ふれあい・いきいきサロンの設置及び活動支援

事業報告	評価
<p>1 ふれあい・いきいきサロン設置総数 117か所【113か所】</p> <p>2 活動支援と連絡調整  地域住民グループ支援事業により「ふれあい・いきいきサロン」の活動支援と連絡調整を行った。</p> <p>3 ふれあい・いきいきサロンへの職員派遣  117か所中21サロン【113か所中23サロン】</p> <p>4 ふれあい・いきいきサロンへの講師派遣  49件 参加人員 1,067人  【49件 参加人員 1,026人】</p> <p>5 ふれあい・いきいきサロンへのグッズ貸出 173件【111件】</p> <p>6 ふれあい・いきいきサロンスタート講習会の開催  新たな担い手の育成やサロンをより広く地域に普及させていくために講習会を開催した。  平成31年 2月20日 防府市文化福祉会館  参加人員 78人【88人】</p> <p>〔内容〕  説明「誰でも・気軽に・楽しく ふれあい・いきいきサロン</p>	<p>福祉の輪づくり運動の一環として、ふれあい・いきいきサロンの活動を支援した。参加者は主に高齢者のため、児童、子育て中の人や障害を持つ人の参加できる場となるよう支援が必要である。</p> <p>講習会はスタートとサポートを隔年で実施している。今年度はスタート講習会を開催し、誰もが参加しやすい「ふれあい・いきいきサロン」活動の新規開設や活動の継続の支援を行った。</p>

<p>をはじめよう♪」</p> <p>講師 防府市社会福祉協議会 職員</p> <p>事例発表「わたしたちのふれあい・いきいきサロン」</p> <p>講師 新田地区 和みの広場 代表</p> <p>講話「食の安全・安心について」</p> <p>講師 山口県山口健康福祉センター防府支所 職員</p>	
---	--

③在宅ひとり暮らし老人の会の支援

事業報告	評価
<p>平成30年 4月 6日～12月11日</p> <p>西浦地区社会福祉協議会</p> <p>自治会ごと 参加人員 103人【93人】</p> <p>平成30年 5月26日～平成31年 2月 2日</p> <p>華城地区社会福祉協議会</p> <p>華城公民館ほか 参加人員 85人【87人】</p> <p>平成30年 7月11日 野島地区社会福祉協議会</p> <p>野島小・中学校 参加人員 50人【20人】</p> <p>平成30年 8月28日 佐波地区社会福祉協議会</p> <p>佐波公民館 参加人員 73人【83人】</p> <p>平成30年10月15日 富海地区社会福祉協議会</p> <p>富海公民館 参加人員 60人【60人】</p> <p>平成30年11月10日 牟礼地区社会福祉協議会</p> <p>牟礼公民館 参加人員 45人【54人】</p> <p>平成30年11月11日 大道地区社会福祉協議会</p> <p>大道公民館 参加人員 49人【42人】</p> <p>平成30年11月15日 右田地区社会福祉協議会</p> <p>右田公民館 参加人員 35人【39人】</p> <p>平成30年11月19日 勝間地区社会福祉協議会</p> <p>勝間公民館 参加人員 50人【50人】</p> <p>平成30年11月23日 松崎地区社会福祉協議会</p> <p>松崎公民館 参加人員 69人【70人】</p> <p>平成30年11月27日 新田地区社会福祉協議会</p> <p>新田公民館 参加人員 52人【52人】</p> <p>平成30年12月 1日 小野地区社会福祉協議会</p> <p>小野公民館 参加人員 30人【45人】</p> <p>平成30年12月12日 中関地区社会福祉協議会</p> <p>中関公民館 参加人員 53人【62人】</p> <p>平成31年 1月27日 向島地区社会福祉協議会</p> <p>向島公民館 参加人員 50人【60人】</p>	<p>孤立の防止とつながりの強化を目的として全地区で開催し、参加者同士の交流やリフレッシュにつながった。さらに高齢化が進むため、今後も継続した支援が必要である。</p>

平成31年 2月22日 華浦地区社会福祉協議会 華浦公民館 参加人員 85人【99人】	
--	--

(4) 地域福祉力の強化

①小地域見守りネットワーク活動の支援

事業報告	評価
<p>民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員及び自治会福祉部関係者等と連携しながら、在宅ひとり暮らし高齢者等を対象とした小地域での見守り活動及び訪問活動を支援した。</p> <p>1 在宅ひとり暮らし高齢者 5,167人【5,005人】</p> <p>2 地域福祉（福祉の輪づくり運動）推進セミナーの開催 我が事としてお互いが困った時に助け合えるよう「福祉の輪づくり運動」と「地域共生社会」のあり方を確認し、より一層の福祉風土の醸成と具体的な活動につなげることを目的にセミナーを開催した。</p> <p>平成31年 1月23日 防府市文化福祉会館 参加人員 147人【350人】</p> <p>〔内容〕 演題 「福祉の輪づくり運動と地域共生社会について」 講師 山口県社会福祉協議会 常務理事 澤村有利生 氏</p>	<p>地域福祉推進セミナーでは、「山口県内の福祉活動がよくわかった。もっと早く聞きたかった。」や「自分たちの活動の良さが分かった。」と感想があり、福祉風土の醸成につながった。</p> <p>定員100人に対し、147人の参加でした。</p>

(5) 地域の社会福祉法人・社会福祉施設等との連携・協働

事業報告	評価
<p>昨年度、市内の社会福祉法人に地域における公益的な取組に関するアンケート調査を実施した結果について、防府市社会福祉施設連絡協議会定例会において報告した。結果としては、アンケートの回収率が低かったことから防府市社会福祉施設連絡協議会の事業部会で取り組んでいくことを模索したが、当面は防府市社会福祉協議会が社会福祉法人の調整役となって進めていくこととした。</p>	<p>地域課題に対して社会福祉法人が取り組むことについて市社協が支援することで共通認識を図れた。</p>

(6) 福祉専門職コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

事業報告	評価
<p>制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけ</p>	<p>地域住民の困りごとを早</p>

では対応困難な事案の解決に取り組むコミュニティソーシャルワーカーを配置した。

1 配置人数 1人

2 CSW活動状況

相談分類	件数
介護保険・高齢サービスに関すること	11件【25件】
障害者総合支援・障害サービスに関すること	4件【37件】
父子・母子世帯に関すること	0件【1件】
子育て・子どもの教育に関すること	5件【102件】
地域福祉に関すること	23件【71件】
生活保護に関すること	0件【1件】
健康・医療に関すること	0件【0件】
経済的援助に関すること	3件【1件】
就労に関すること	0件【0件】
身の回りの世話に関すること	1件【1件】
家族関係	1件【0件】
福祉制度等に関する連絡調整	7件【2件】
高齢者、障害者、児童に関する行事等	3件【21件】
社会資源等に関する連絡調整	12件【31件】
地域の会議、サロン訪問等	57件【29件】
機関・組織開催の会議、研修、行事等	12件【51件】
その他研修会、視察等	1件【6件】
講師派遣	3件【5件】
その他	45件【0件】
合計	188件【384件】

※相談分類は複数の項目に重複している場合、各項目にカウント

期に発見し、専門機関や住民活動による支援に結びつくよう調整を行った。

相談件数は、対前年度比で196件減少した。今後は積極的にアウトリーチし、また、相談しやすい環境づくりに努めたい。

(7) 地域福祉関係の研修

事業報告	評価
平成30年 7月 2日 市町社協地域福祉・ボランティア担当者会議 (第1回) 山口市 参加人員 1人	地域福祉事業に関する研修等を実施した。
平成30年 7月27日～28日 コミュニティソーシャルワーク実践研修 萩市 参加人員 1人	
平成30年 8月 1日～ 2日 コミュニティソーシャルワーク実践研修	

	山口市	参加人員	1人	
平成30年 9月28日				
山口県地域福祉推進セミナー	山口市	参加人員	1人	
平成30年11月28日				
山口県ボランティア交流大会	山口市	参加人員	1人	
平成30年12月 7日				
企業等社会貢献活動セミナー	山口市	参加人員	2人	
平成30年12月11日				
山口県地域福祉でまちづくり推進セミナー	美祢市	参加人員	2人	
平成30年12月21日				
災害時における行政・NPO・ボランティア等との連携・協働に向けた研修会	山口市	参加人員	2人	
平成31年 1月29日～30日				
災害ボランティア運営者養成研修会	山口市	参加人員	1人	
平成31年 2月 7日				
有償助け合いサービス運営者研修会	山口市	参加人員	2人	
平成31年 2月13日				
ふれあい・いきいきサロン担い手研修会	山口市	参加人員	1人	
平成31年 2月27日				
社協活動ブロック会議	広島市	参加人員	1人	
平成31年 3月 2日～ 3日				
ボランティアコーディネーター研修	京都市	参加人員	1人	
平成31年 3月 4日				
市町社協地域福祉・ボランティア担当者会議 (第2回)	山口市	参加人員	2人	

(8) 防府市民生委員・児童委員協議会との連携及び支援

事業報告	評価
<p>1 民生委員・児童委員及び地区民生委員児童委員協議会活動への協力・支援</p> <p>防府市民生委員・児童委員協議会及び各地区民生委員児童委員協議会定例会等を支援した。</p> <p>延39回 参加人員 70人 【延20回 参加人員 33人】</p>	<p>民生・児童委員や地区民児協会長から相談、問合せができる体制を整えたことにより、委員活動、地区民児協活動を促進することができた。</p>
<p>2 ふれあいネットワークづくり運動に対する支援</p> <p>(1) 平成29年度ふれあいのネットワークづくり運動 (取組結果)</p>	<p>民生・児童委員を中心にふれあいのネットワークづ</p>

<p>①ネットワークづくりを実施した民生委員・児童委員 115人【100人】</p> <p>②ネットワークづくりを実施した対象者 265人【274人】</p> <p>【属性別内訳】</p> <p>A ひとり暮らし高齢者・75歳以上の二人暮らし 235人【238人】</p> <p>B 寝たきり高齢者・障害者・認知症 50人【66人】</p> <p>C ひとり親・児童 4人【5人】</p> <p>D 生活困難者 21人【18人】</p> <p>E その他 16人【12人】</p> <p>(2) 平成30年度ふれあいのネットワークづくり運動〈取組計画〉</p> <p>①ネットワークづくりを計画した民生委員・児童委員 103人【103人】</p> <p>②ネットワークづくりを計画した対象者 283人（うち新規 79人） 【284人（うち新規 79人）】</p> <p>【属性別内訳】</p> <p>A ひとり暮らし高齢者・75歳以上の二人暮らし 265人【265人】</p> <p>B 寝たきり高齢者・障害者・認知症 56人【56人】</p> <p>C ひとり親・児童 4人【4人】</p> <p>D 生活困難者 22人【22人】</p> <p>E その他 18人【18人】</p> <p>3 全国民生委員互助共励事業の実施 互助事業は、会員の死亡、疾病、災害にかかる弔慰金及び見舞金に関する受付及び申請をした。</p>	<p>くり運動を進め、支援を必要とする人を支えるネットワークが形成された。今後の社会情勢を鑑み、地区社協との連携が求められる。</p>
---	---

(9) 防府市自治会連合会との連携及び自治会福祉部の支援

事業報告	評価
<p>地区社会福祉協議会の開催する福祉関係者合同研修会等（地区社協役員、福祉員、友愛訪問グループ員、民生委員・児童委員、自治会長、自治会福祉部長、自治会役員、老人クラブ、ボランティア）で福祉サービス情報や活動事例を説明し情報提供と連携を図った。</p> <p>地区で実施される自治会福祉部長研修会で、防府市社会福祉協議会から福祉の輪づくり運動や小地域福祉活動、自治会福祉部長の役割を</p>	<p>ふれあい・いきいきサロンなどの地域の福祉行事の際、単位自治会長や福祉部長の支援により活動を円滑に推進できるので、今後も協働できる体制づくりに努</p>

説明した。	めたい。
-------	------

(10) 防府市社会福祉施設連絡協議会との連携

事業報告	評価
平成30年 5月11日 定例会 防府市身体障害者福祉センター 参加人員 2人 平成31年 3月 8日 定例会 いちはな 参加人員 2人	定例会等での情報交換や 加入施設と連携が図れた。

## 2 老人福祉事業

27,987,038 円

高齢者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 防府市からの受託事業の推進

事業報告	評価
<p>1 老人寝具乾燥事業</p> <p>在宅寝たきり高齢者及びひとり暮らし高齢者等（いずれも低所得世帯を対象）が日常生活に使用する布団、毛布等の寝具乾燥を実施し、保健衛生の向上に努めた。</p> <p>(1) 実施期間 平成30年 7月 1日～平成31年3月31日</p> <p>(2) 実施世帯 306世帯【351世帯】</p> <p>(3) 実施枚数 601枚 【589枚】</p> <p>〔内訳〕</p> <p>敷布団 168枚【189枚】</p> <p>掛布団 241枚【236枚】</p> <p>毛布 192枚【164枚】</p>	<p>民生・児童委員の協力を得て実施することができ、対象となる世帯に寝具の洗濯・乾燥を行うことで衛生状態の向上に加え、見守り活動や実態把握の一助となった。地域包括支援センターやケアマネージャー等にも取り組みが浸透し、地域の見守り体制や活動の促進へとつながった。</p>
<p>2 老人スポーツ普及事業</p> <p>第46回防府市いきいきシルバーふれあいスポーツ大会の開催</p> <p>平成30年 9月20日 ※雨天中止</p> <p>防府市スポーツセンター運動広場</p> <p>参加人員 一人【1,000人】</p>	<p>大会は雨天のため中止となったが、今後も高齢者の健康増進と交流を図り、健康づくり、生きがいづくりへとつなげていきたい。</p>
<p>3 高齢者文化活動振興事業</p> <p>防府市いきいきシルバーの集いの開催</p> <p>平成30年11月 8日 アスピラート</p>	<p>地域の中で文化活動を行っている高齢者等の発表をとおして参加者へ生涯現役</p>



<p style="text-align: right;">参加人員 600人【400人】</p> <p>〔内容〕</p> <p>発表会 高齢者文化活動等の発表</p> <p>講演 演題「私の相撲人生」</p> <p>講師 鋳山 矩幸氏 (鋳山部屋師匠／元関脇 寺尾)</p> <p>4 三世代交流事業</p> <p>14地区老人クラブ連合会及び1地区社会福祉協議会へ三世代交流活動費を助成し活動を支援した。</p> <p style="text-align: right;">参加人員 10,822人【9,960人】</p> <p>5 平成大学（老人大学校）設置運営事業</p> <p>高齢者及び向老期の方々に対し、体系的な学習の機会を提供することにより、社会経済の変化への適合と生きがいのある豊かな老後を創造することを目的に開講した。</p> <p>第19期平成大学（前期）の開講</p> <p>平成30年 5月～平成31年 3月（10回）</p> <p>防府市文化福祉会館等 参加延人員 310人【289人】</p> <p>6 総合社会福祉大会事業</p> <p>第36回防府市総合社会福祉大会を福祉関係6団体が主催で開催し、永年にわたり社会福祉へ貢献された方への表彰を行うとともに、市民の福祉への関心を高めるために記念講演や福祉機器展等を行った。</p> <p>第36回防府市総合社会福祉大会の開催</p> <p>平成30年 9月 7日 防府市公会堂</p> <p style="text-align: right;">参加人員 700人 【500人】</p> <p>〔内容〕</p> <p>記念講演 演題 「家族の絆 ～病気を乗り越えて～」</p> <p>講師 タレント 麻木久仁子氏</p> <p>福祉展 福祉機器展、福祉施設作品展及び即売、福祉相談コーナー</p> <p>・運営委員会の開催</p> <p>第1回 平成30年 6月25日 防府市文化福祉会館</p> <p>第2回 平成30年 8月 6日 防府市文化福祉会館</p>	<p>生活のモデルを提供するとともに、人気力士の講演により生活に潤いを持たせることができた。</p> <p>高齢者が中心となって様々な遊びをとおして、高齢者の経験や技術を子や孫に伝承し、世代間の交流を深めるとともに高齢者の生きがいを高めた。</p> <p>2年間の講座の前期にあたり、各講座においてグループ活動による受講生間の交流を重点的に行った。健康意識の高い受講生が多いため、後期の講座は健康を重視した内容を予定している。</p> <p>参加人員は、対前年度比で200人増加した。今後も記念講演の内容を工夫し、参加人数の増加に努めていきたい。</p>
--	---

<p style="text-align: center;">・表彰選考委員会の開催 平成30年 7月19日 防府市文化福祉会館</p> <p>7 地域住民グループ支援事業</p> <p>地域住民の自主的な活動として各地区で実施されている「ふれあい・いきいきサロン等」に健康運動指導士・歯科衛生士・管理栄養士を紹介・派遣した。</p> <p>平成30年 4月 実施サロン数 1か所【0か所】参加人員 21人【 0人】</p> <p>平成30年 5月 実施サロン数 3か所【2か所】参加人員 89人【 44人】</p> <p>平成30年 6月 実施サロン数 5か所【4か所】参加人員123人【 91人】</p> <p>平成30年 7月 実施サロン数 3か所【7か所】参加人員142人【173人】</p> <p>平成30年 8月 実施サロン数 2か所【1か所】参加人員 56人【 25人】</p> <p>平成30年 9月 実施サロン数 3か所【3か所】参加人員 46人【 37人】</p> <p>平成30年10月 実施サロン数 3か所【4か所】参加人員110人【 76人】</p> <p>平成30年11月 実施サロン数 1か所【3か所】参加人員 45人【 62人】</p> <p>平成30年12月 実施サロン数 2か所【0か所】参加人員153人【 0人】</p> <p>平成31年 1月 実施サロン数 3か所【3か所】参加人員 36人【 49人】</p> <p>平成31年 2月 実施サロン数 2か所【2か所】参加人員 31人【 42人】</p> <p>平成31年 3月 実施サロン数 2か所【1か所】参加人員 43人【 15人】</p> <p>8 介護転倒予防事業</p> <p>ひとり暮らし高齢者、要援護高齢者及び高齢者世帯に対し、要介護状態にならないように介護予防のための転倒骨折予防教室等を開催した。</p> <p>平成30年 6月17日・24日、9月13日、12月6日、 平成31年 1月26日</p> <p style="text-align: center;">華城地区社会福祉協議会 華城公民館ほか</p> <p style="text-align: center;">参加人員 各回12～44人【各回15～25人】</p> <p>平成30年 7月 5日 中関地区社会福祉協議会 中関公民館 参加人員 35人【 52人】</p>	<p>高齢者等に対し一層の介護予防が図れるよう地域住民の自主的グループの活動支援と連絡調整を行った。</p> <p>各地区で開催し、健康づくりと高齢者の生きがいや自立生活の助長、また閉じこもりの予防を行うとともに、対象者同士や地域福祉の担い手が交流も深めることができた。</p> <p>継続して事業を行い、地域の中に介護予防が定着す</p>
--	--

平成30年 7月25日 野島地区社会福祉協議会 野島漁村センター 参加人員 30人【30人】	るよう図りたい。
平成30年10月15日 富海地区社会福祉協議会 富海公民館 参加人員 60人【60人】	
平成30年11月8日 西浦地区社会福祉協議会 西浦公民館 参加人員 53人【54人】	
平成30年11月10日 牟礼地区社会福祉協議会 牟礼公民館 参加人員 45人【54人】	
平成30年11月11日 大道地区社会福祉協議会 大道公民館 参加人員 49人【80人】	
平成30年11月15日 右田地区社会福祉協議会 右田公民館 参加人員 40人【39人】	
平成30年11月19日 勝間地区社会福祉協議会 勝間公民館 参加人員 50人【50人】	
平成30年11月27日 新田地区社会福祉協議会 新田公民館 参加人員 52人【49人】	
平成31年 1月27日 向島地区社会福祉協議会 向島公民館 参加人員 50人【60人】	
平成31年 2月8日 小野地区社会福祉協議会 小野公民館 参加人員 62人【60人】	
平成31年 2月22日 華浦地区社会福祉協議会 華浦公民館 参加人員 85人【99人】	
平成31年 3月6日 松崎地区社会福祉協議会 松崎公民館 参加人員 54人【72人】	
平成31年 3月12日 佐波地区社会福祉協議会 佐波公民館 参加人員 70人【57人】	

(2) 防府市からの補助事業の推進

事業報告	評価
<p>1 敬老の日記念行事等助成事業</p> <p>(1) 地区社会福祉協議会主催による記念行事等へ助成 9月17日の敬老の日前後に地区社会福祉協議会単位（7地区）及び単位自治会（8地区）で実施される敬老の日記念行事等に対して助成した。</p> <p>(2) 社会福祉施設主催による記念行事等へ助成 市内5か所の特別養護老人ホーム、1か所の有料老人ホームで実施される敬老の日等記念行事に対して助成した。</p>	<p>地区社協等に敬老の日記念行事等の開催を促し、75歳以上の方へお祝いのお気持ちをお伝えすると同時に、社会参加、交流の場を提供した。地区社協役員等からの相談に応じ、実情に応じた敬老行事の運営について支援した。</p>

(3) 高齢者福祉の推進

事業報告	評価
1 地域包括ケアシステムの構築に向けての支援 (1) はあとふるねっと会議定例会への出席 平成30年 5月 7日 防府市役所 参加人員 1人	はあとふるねっと会議定例会議では、関係機関等の情報交換や困難事例の検討を行った。
2 認知症高齢者の支援 (1) 高齢者虐待防止ネットワーク会議への出席 平成30年10月4日 防府市役所 参加人員 1人	高齢者虐待の防止を図るため、関係機関等が連携・協力し情報共有と虐待防止の啓発活動に努めた。

### 3 障害者福祉事業

1,142,317円

障害者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 防府市からの受託事業の推進

事業報告	評価
1 障害者スポーツ交流支援事業 (1) 第18回山口県キラリンピックへ参加 平成30年 5月13日 陸上競技 山口市 参加人員 8人【67人】 平成30年 5月20日 卓球 山口市 参加人員 14人【10人】  (2) 第56回防府市障害者体育大会の開催 平成30年10月13日 防府市文化福祉会館前庭 参加人員 400人【450人】	キラリンピック参加者の競技出場を支援することで障害者の健康増進の社会参加、交流を促進した。  大会は3年ぶりに全競技が実施できた。今後も多くの参加者が得られるようプログラムの内容等を工夫していきたい。
2 障害者レクリエーション推進事業 在宅知的障害者(児)とその家族を対象に、「みかん狩り」を実施し、社会参加及び家族間の交流を図った。 (1) 知的障害者レクリエーションの開催 平成30年10月28日 松田農園 参加人員 103人【120人】	レクリエーションをとおして、日常で体験できないことを経験する機会を提供するとともに、在宅の知的障害者・児とその家族が交流を深め、積極的な社会参

<p>3 障害者地域参加促進事業</p> <p>(1) 視覚障害者の部</p> <p>①レクリエーション（みかん狩り）の開催 平成30年10月28日 松田農園 参加人員 14人【24人】</p> <p>②生花教室の開催 平成30年12月23日 防府市文化福祉会館 参加人員 2人【1人】</p> <p>(2) 聴覚障害者の部</p> <p>①生花教室の開催 平成30年12月23日 防府市文化福祉会館 参加人員 3人【5人】</p> <p>②工場見学の開催 平成31年 2月12日 (株)シマヤ新田工場 参加人員 14人【11人】</p>	<p>加を行う場を提供した。今後はレクリエーションの内容等を工夫していきたい。</p> <p>聴覚障害者や視覚障害者を対象に社会生活や家庭生活に対する学習の機会を提供するとともに、日常で体験できないことを経験する機会を提供することにより、教養を高め、日常生活の向上とコミュニケーションを深めるために社会参加を促進した。</p>
---	---

(2) 防府市障害福祉団体連合会及び障害者福祉団体活動の支援

事業報告	評 価
<p>1 防府市障害福祉団体連合会理事会への出席 平成30年 5月31日 防府市身体障害者福祉センター 参加人員 1人 平成31年 3月27日 防府市身体障害者福祉センター 参加人員 1人</p>	<p>障福連行事の運営補佐をすることで、円滑な進行を助け、会員の交流や社会参加を支援した。</p>
<p>2 障害者福祉団体活動の支援</p> <p>(1) 防府市ふうせんバレーボール大会への参加 平成30年 6月16日 ソルトアリーナ防府 参加人員 1人</p> <p>(2) 防府市障害者親睦卓球大会への参加 平成31年 3月 2日 ソルトアリーナ防府 参加人員 1人</p>	

(3) 難病対策の支援

事業報告	評価
1 山口・防府難病対策地域協議会支援者会議 平成31年 2月18日 防府総合庁舎 参加人員 1人	会議等により関係機関のそれぞれの取り組みを確認し、当事者の意見を聞き取ることができた。

(4) 精神保健に関する事業の支援

事業報告	評価
1 防府地域精神保健研修会 平成30年 5月 9日 防府総合庁舎 参加人員 1人 平成30年 8月 8日 防府市身体障害者福祉センター 参加人員 1人 平成30年 9月12日 ふれんず 参加人員 1人	研修会をとおして資質の向上を図り、精神保健に関する知識、技術を高めた。
2 ひきこもり基礎研修 平成30年 6月18日 防府総合庁舎 参加人員 1人	

(5) 防府市地域総合支援協議会の支援

事業報告	評価
1 協議会への出席 平成30年 7月26日 (第1回) 防府市役所 参加人員 1人 平成31年 2月21日 (第2回) 防府市身体障害者福祉センター 参加人員 1人	相談支援事業をはじめ、困難事例等への対応について協議した。

## 4 児童福祉事業

793,239円

児童の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 「赤ちゃん文庫」事業の推進

事業報告	評価
赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、母子保健推進員の協力を得て生後2か月児の家庭訪問に際し、絵本を2冊ずつ贈呈した。	子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込み

人 数 861人【977人】	の防止につながっている。 子育て支援のため問題の早期発見・早期対応のための関係機関の連携につながっている。
----------------	--

(2) チャイルドシート貸出事業の推進

事業報告	評 価
<p>里帰り等で6歳未満の幼児を乗せて自動車を運転する必要がある場合に、1か月を限度に貸し出した。</p> <p>1 利用人数 348人【373人】</p> <p>2 貸出回数 405回【435回】</p> <p style="padding-left: 20px;">ベビー用 39回【46回】</p> <p style="padding-left: 20px;">乳幼児用 314回【344回】</p> <p style="padding-left: 20px;">学童用 52回【45回】</p>	<p>ホームページ等での周知もあり、お盆や年末年始を中心に利用を促進することができた。無料貸し出しではあるが、福祉活動への寄付金につながっている。今後も利用促進に努めたい。</p>

(3) 小地域見守りネットワーク活動の推進

事業報告	評 価
<p>社会福祉施設、学校、老人クラブ及び地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会との連携につながる活動を支援した。</p>	<p>今後もきめ細かい地域の見守り体制を支援したい。</p>

## 5 ボランティアセンター事業

2,658,368円

市民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、関係機関及び団体に対して福祉教育等の育成支援を行い、福祉の推進に資するために次の事業を実施した。

### 5-1 あらゆる人の社会参加を支援

(1) ボランティアコーナーの設置

事業報告	評 価
<p>週2回ボランティアアドバイザーを配置して、ボランティア及びボランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、気軽にボランティア同士の交流の場を提供した。</p>	<p>ボランティア活動の開始や継続の支援を行いつつ、気軽にボランティア同士の</p>

1 開設曜日・時間 月・金曜日 13:00～16:00	<p>交流を促進した。ボランティアコーナーが、ボランティア活動の支援につながっている。</p> <p>今後も利用促進のため引き続き周知していきたい。</p>
2 開設場所 ボランティアコーナー（2階16号室）	
3 開設日数 74日【83日】	
4 延来場者数 527人【531人】	

(2) ボランティア相談の受付

事業報告	評価
<p>ボランティアコーディネーターを配置して、ボランティア及びボランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、ボランティアを必要とする施設・団体・個人とボランティア団体・個人を結びつけた。</p> <p>相談件数 624件【580件】</p>	<p>今後もボランティア相談について周知し、ボランティアに関する情報をきめ細かく提供できるよう努める必要がある。</p>

(3) ボランティア研修の開催

事業報告	評価
<p>1 音声訳ボランティア講習会の開催</p> <p>視覚障害者への情報提供の手段として、書かれた文字を音声に訳すボランティアを養成する講習会を年間23回開催した。</p> <p>平成30年 4月 9日～平成31年 3月18日</p> <p>防府市文化福祉会館 参加延人員 172人【207人】</p> <p>2 ボランティア入門講座の開催</p> <p>平成31年 3月14日 防府市文化福祉会館</p> <p>参加人員 8人【一人】</p> <p>[内容]</p> <p>説明「ボランティア活動について」</p> <p>説明者 防府市社会福祉協議会 職員</p> <p>ボランティア活動リレートーク</p> <p>「いろいろなボランティア活動を聞いてみよう」</p> <p>発表者 ボランティア活動実践団体</p> <p>フリータイム</p> <p>「ボランティアコーナーでお茶を飲みながら、実際のボ</p>	<p>技術等を必要とするボランティアを養成するとともに活動への参加を促進した。講習会の参加者がボランティア団体に参加するなど、講習会参加で終わらず、その後の活動につながっている。</p> <p>今後は魅力ある研修内容を企画立案し、参加人数の増加に努める必要がある。</p>



ランティア活動に結びつくように、情報交換しよう！」	
<p>3 講師の派遣</p> <p>平成30年11月18日 防府市手話奉仕員養成講座 防府市文化福祉会館 派遣人員 1人</p> <p>平成30年12月16日 防府市要約筆記者養成講座 防府市文化福祉会館 派遣人員 1人</p>	

(4) ボランティア団体・個人の活動支援

事業報告	評 価
<p>1 ボランティアセンター登録の実施</p> <p>(1) ボランティア団体 41団体【41団体】 (2) 個人ボランティア 235人【247人】</p>	<p>広報紙などでボランティア活動の紹介等を継続的に支援した。登録団体の増加を図るため、ボランティアセンター登録のメリットを周知していきたい。</p>
<p>2 ボランティア活動等保険への加入促進</p> <p>(1) 加入取扱件数</p> <p>ボランティア活動保険 4,761人【4,314人】 ボランティアセンター登録団体及び個人ほか 市社協理事及び評議員、民生委員・児童委員（主任児童委員）、福祉員、友愛訪問グループ員</p> <p>ボランティア行事用保険 125件【104件】 福祉サービス総合補償 8件【9件】</p> <p>(2) 事故取扱件数</p> <p>ボランティア活動保険 8件【8件】 ボランティア行事用保険 1件【0件】</p>	<p>保険への加入促進を行うとともに、事故発生時に速やかに手続きを取り、加入者に適切な補償を迅速に行った。</p>

## 5-2 協働の推進

(1) 協働情報紙「まなぼらさぽーと」の発行

事業報告	評 価
<p>ボランティア情報を提供するために防府市生涯学習課、防府市市民活動支援センター及び防府市社会福祉協議会（ボランティアセンター）</p>	<p>活用しやすい情報を市民に提供することができた。</p>

<p>が協働で作成して、ボランティア及び生涯学習等についての情報を発信した。</p> <p>1 発行回数 年6回奇数月の1日発行</p> <p>2 発行部数 2,800部(うち、市社協負担分800部)</p>	<p>市民活動やボランティア活動を活性化していくためには、今後も三機関が協力して発行していくことが必要であり、情報収集を積極的に行っていきたい。</p>
--	--

(2) ボランティア行事への支援

事業報告	評価
<p>防府市生涯学習課が主催する生涯学習フェスティバルの企画・運営等を行う実行委員会及び生涯学習フェスティバルに参加し、協力した。</p> <p>1 実行委員会 防府市文化福祉会館 参加人員 1人  平成30年 9月27日(第1回)  平成30年10月25日(第2回)  平成30年11月20日(第3回)  平成31年 1月24日(第4回)  平成31年 2月14日(第5回)  平成31年 3月14日(第6回)</p> <p>2 生涯学習フェスティバル  平成31年 3月10日 ルルサス防府・アスピラート  参加人員 1人</p>	<p>市民に身近なフェスティバルの開催に寄与した。参加者にはフェスティバルの参加を機会に、ボランティア活動への理解が深まり、ボランティア活動への参加につながるようさらなる啓発に努めたい。</p>

(3) 地域における福祉教育の推進

事業報告	評価
<p>1 福祉体験学習への支援  (1) 福祉体験学習(総合的な学習の時間)におけるゲストティーチャーの派遣支援  平成30年 9月26日 玉祖小学校  点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験  平成30年10月 2日 牟礼南小学校  点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験  平成30年10月 4日 牟礼南小学校  手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験  平成30年10月16日 華城小学校</p>	<p>打ち合わせの段階から地区社協及び民児協とともに福祉体験学習の企画づくりに取り組んだ結果、学校、地域、社協の意見が集約された体験学習となった。  車いす及びアイマスク体験を実施したことにより、地域の方々と学校との関係づくりの強化につながった。</p>

<p>点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 平成30年10月18日 新田小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験 及び手話体験 平成30年10月31日 華城小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験 及び手話体験</p> <p>(2) 福祉体験学習（総合的な学習の時間）における職員の派遣 平成30年 6月19日 右田小学校 車いす体験及びアイマスク体験 平成30年 9月27日 華城小学校 車いす体験及びアイマスク体験 平成30年10月 2日 玉祖小学校 車いす体験及びアイマスク体験 平成30年10月10日 新田小学校 車いす体験及びアイマスク体験 平成30年10月16日、 11月14日・15日 中関小学校 福祉の講義、車いす体験及びアイマスク体験 平成31年 1月31日 松崎小学校 車いす体験及びアイマスク体験</p> <p>2 防府市青少年ボランティア推進委員会への協力 高校・総合支援学校等の青少年によるボランティア活動への参加に協力した。</p>	<p>また、複数日に分けて実施した学校もあり、体験だけでなく、福祉について詳しく教えることができ理解が深まった。 今後も福祉教育の必要性を周知していき、現在要望がない学校へも広報していくことが必要である。</p>
--	--

(4) 企業等社会貢献活動の推進

事業報告	評 価
<p>1 企業ボランティアモデル事業所（山口県社会福祉協議会指定事業）の支援 社会貢献活動や従業員の行うボランティア活動への支援などを積極的に行う企業を企業ボランティアモデル事業所として指定しており、ボランティア情報等を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マツダ株式会社防府工場（平成8年度から指定）</li> <li>・ 東山口信用金庫（平成11年度から指定）</li> <li>・ 株式会社丸久（平成15年度から指定）</li> <li>・ 株式会社ブリヂストン防府工場（平成21年度から指定）</li> </ul>	<p>企業ボランティアモデル事業所を企業、団体及び市民に周知することで、企業のボランティア活動を促進した。 今後も引き続き広報紙等で周知するとともに連携を図りたい。</p>

2 研修会への参加 平成30年12月 7日 企業等社会貢献活動セミナー 山口市 参加人員 2人	
---	--

(5) ボランティア推進機関との連携及び活動支援

事業報告	評 価
<p>幅広くボランティア推進機関及びボランティア団体等と連携するとともに活動を支援した。</p> <p>1 防府市市民活動支援センター、防府市生涯学習ボランティア相談コーナー等との連携</p> <p>2 特定非営利法人（NPO 法人）との連携及び活動支援</p> <p>3 防府ボランティア連絡会との連携及び活動支援</p> <p>(1) 例 会 原則として毎月第1木曜日 参加人員 1人</p> <p>(2) 行 事 ・防府ボランティアのつどい 平成30年11月29日 防府市文化福祉会館 参加人員 1人 ・会員県外研修 平成31年 1月24日 福岡県宗像市 参加人員 2人</p>	<p>市民活動支援センター、生涯学習ボランティア相談コーナー等と連携し、地域のボランティアやNPO法人からの相談に応じ、活動を支援した。</p> <p>例会、行事、つどい及び会員研修に参加して連携及び活動支援を行うことで、会員・団体と関係づくりを強化できた。</p>

(6) 災害ボランティア活動の支援

事業報告	評 価
<p>災害が発生していない平常時から「被災者」と「ボランティア」をつなぐセンター運営のため、昨年度作成した防府市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの設置等に関する基本的な考え方及び具体的な運営や活動について確認しながら訓練する養成講座を開催した。</p> <p>平成30年 6月29日 防府市文化福祉会館 参加人員 73人 〔内容〕 講演「近年の災害ボランティアセンターによる支援について」 講師 山口災害救援 お世話役 杉本邦夫 氏</p>	<p>マニュアルを活用した運営スタッフ養成講座の開催や運営スタッフについての協議を重ねることができた。</p> <p>継続的に研修・演習をすることで、災害が発生した際に迅速なセンター運営ができるよう努めたい。</p>

<p>演習 「防府市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づいた演習について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班（受付班、マッチング班、資材班）ごとにボランティアの対応</li> <li>・班ごとの振り返りとマニュアルへの考察</li> </ul>	
--	--

### 5-3 組織基盤の強化

#### (1) ボランティア団体への助成

事業報告	評価
<p>防府市における非営利の自主的、主体的なボランティア活動で、特に福祉分野におけるボランティア活動を目的とした団体を支援するとともに、個々の団体に対する支援をとおり、防府市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図ることを目的として助成した。</p> <p>ボランティア活動基本助成                      18件【 18件】</p>	<p>ボランティア団体に対する支援をとおり、市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図るとともに新たな活動を支援した。</p>

#### (2) 24時間テレビ「愛は地球を救う」への協力

事業報告	評価
<p>市内5校の高校生ボランティアが募金活動に従事し、街頭募金を実施して24時間テレビ「愛は地球を救う」に協力した。また、事前学習会を行うことで、募金活動の趣旨を理解するように努めた。</p> <p>平成30年 8月24日 事前学習会 防府市文化福祉会館                      参加人員 23人【 1人】</p> <p>平成30年 8月26日 街頭募金 イオン防府店、ゆめタウン防府                      参加人員 34人【34人】</p>	<p>市内全校の高校生ボランティアが募金活動に従事した。</p> <p>事前学習会に参加した生徒は、当日の取り組みに積極性が見られた。今後も引き続き、事前学習会を実施し、活動の活性化を図りたい。</p>

## 【生活支援部門】

### 1 生活支援事業

6,692,292円

地域における相談や援助活動の充実及び住民の参加による各種福祉サービス等の実施に向け、総合的に行った。

#### 1-1 福祉総合相談事業

##### (1) 福祉総合相談の開催

事業報告					評 価
1 開催状況					合計相談人数、相談件数ともに減少している。しかし、1人の相談者に対して包括的支援が求められるようになったため、他機関への橋渡しの役割を担った。
専門相談事項	担 当	開設日数	相談人数	相談件数	
心配ごと相談	相 談 員	244日 【244日】	52人 【70人】	52件 【76件】	
労働・年金相談	社会保険 労 務 士	11日 【11日】	5人 【8人】	5件 【13件】	
住 宅 相 談	建 築 士	12日 【12日】	0人 【7人】	0件 【7件】	
登 記 等 相 談	司 法 書 士	23日 【21日】	65人 【67人】	72件 【89件】	
法 律 相 談	弁 護 士	24日 【24日】	148人 【146人】	158件 【170件】	
合 計		延べ314日 【312日】	270人 【298人】	287件 【355件】	
2 相談業務取扱件数（心配ごと相談、労働・年金相談、住宅相談、登記等相談、法律相談）					
種 別	専門相談員 取扱件数	種 別	専門相談員 取扱件数		
生 計	10【13】	人 権 ・ 法 律	0【27】		
年 金	0【10】	財 産	88【102】		
職 業 ・ 生 業	18【3】	事 故	3【10】		
住 宅	27【32】	児 童 福 祉 ・ 母 子 保 健	0【1】		
家 族	27【41】	教 育 ・ 青 少 年	0【1】		
結 婚	0【4】	心 身 障 害 者 福 祉	0【0】		
離 婚	35【41】	母 子 福 祉 ・ 父 子 福 祉	0【0】		
健 康 ・ 衛 生	1【3】	老 人 福 祉	1【1】		

医 療	3【 4】	苦 情	7【 8】
精 神・衛 生	5【 9】	そ の 他	62【 45】
合 計	287【355】		
	上記のうち解決したもの	263【295】	
	継続指導中のもの	0【 0】	
	他機関に紹介・その他	24【 60】	

(2) 福祉総合相談窓口の広報啓発活動の推進

事業報告	評 価
<p>広報紙「社協だより防府」やホームページ「“元気”を支えるあたたかい福祉のまちづくり」に福祉総合相談の内容を掲載し、広く周知を図った。</p>	<p>市民に広く周知することにより、問合せが増加した。</p>

(3) 相談員の資質向上

事業報告	評 価
<p>山口県社会福祉協議会主催の研修会は開催されなかった。</p>	

## 1-2 有料在宅福祉サービス事業

有料在宅福祉サービス事業は、住民参加型（会員制）による有料の家事援助を中心とした事業で、家事援助等の支援が必要な高齢者世帯や障害者世帯等へ協力会員を派遣し、住み慣れたところで安心して暮らせるための在宅福祉の支援・向上に努めた。

(1) 利用会員及び協力会員の募集

事業報告	評 価
<p>1 平成30年度活動状況</p> <p>(1) 登録会員</p> <p>    協力会員数 22人【36人】</p> <p>    利用会員数 54人【47人】</p> <p>(2) 実働会員</p> <p>    協力会員数 13人【13人】</p> <p>    利用会員数 35人【33人】</p> <p>(3) 実稼動延回数及び延時間</p>	<p>登録会員は協力会員、利用会員ともに実質増加している。協力会員は新規に3人が登録となった。しかし、需要に対して供給が追いついていない状況は変わっておらず、今後更に稼働可能な協力会員を増やすことが</p>

<p>実稼働延回数 925回【 914回】</p> <p>延時間 1,621時間【1,556時間】</p> <p>(4) 支援内容</p> <p>掃除 530時間05分【540時間35分】</p> <p>食事の支度 340時間45分【201時間45分】</p> <p>買物 340時間15分【412時間50分】</p> <p>洗濯 43時間00分【 74時間40分】</p> <p>話し相手 118時間45分【 77時間10分】</p> <p>介助 35時間20分【 52時間30分】</p> <p>その他 212時間50分【196時間30分】</p> <p>2 募集状況</p> <p>広報紙「社協だより防府」で会員を募集し、利用会員14人、協力会員3人の新規登録があった。</p>	<p>必要である。利用会員は新規登録が14人で内待機は3人、利用会員の都合での保留が3人となっている。実稼働延回数及び延時間は前年度に比べて微増となっている。</p>
--	---

(2) 協力会員研修会等の開催

事業報告	評価
<p>協力会員の資質向上のため、山口県山口健康福祉センター防府支所地域保健課に講師を依頼し、「精神疾患を持つ方への関わり方」の研修を行った。また、交流会により活動内容の振り返り及び情報交換を行った。</p> <p>平成31年 3月 8日 防府市文化福祉会館</p> <p>参加人員 13人【10人】</p>	<p>協力会員同士が日頃の支援内容をお互いに情報交換することで支援に関する不安や疑問を解消することができ、サービスの向上につながった。今後の支援に役立つ研修会を開催し、協力会員の対人援助における資質向上を図った。</p>

(3) 広報啓発活動の実施

事業報告	評価
<p>広報紙「社協だより防府」やホームページ「“元気”を支えるあたたかい福祉のまちづくり」に事業内容を掲載し、広く周知を図った。</p>	<p>市民に広く周知することにより、会員の増大を図ることができた。ケアマネジャー等にも事業内容が浸透し連携することで、ニーズに合ったサービスを提供できるように引き続き努めたい。</p>



### 1-3 ふれあいネットワーク事業の推進

#### (1) 在宅介護者の集いの開催

事業報告	評価
<p>在宅の寝たきりの高齢者や認知症の高齢者を介護している家族に対し、心身のリフレッシュの機会を提供するとともに、同じ悩みや体験をもつ者同士が交流を深め、当事者組織の活性化を図ることを目的に開催した。</p> <p>平成30年12月 6日 一の俣温泉観光ホテル 参加人員 19人【17人】</p> <p>〔内容〕 介護や悩みごと相談、話し合い、入浴、会食、休憩等</p>	<p>介護サービスや認知症を支える家族の会の紹介など、当事者の積極的な地域交流の場づくりと悩み解決の支援ができた。今後は参加者の増加に努める必要がある。</p>

### 1-4 福祉車両貸出事業

#### (1) 福祉車両（車いす同乗車）貸出事業の推進

事業報告	評価
<p>車いす利用者等の人々が日常生活を営むうえで、生活圏域の拡大や自立と社会参加の促進を図るために必要な手段として、福祉車両の貸し出しを行った。</p> <p>1 貸出車両 マツダデミオ、マツダMPV、トヨタラクティス</p> <p>2 貸出件数 50件（走行実績2,780km） 【38件（走行実績2,198km）】</p>	<p>社協だより等で周知したことにより利用の増加につながった。</p> <p>通院にはデミオ、ラクティス、行楽にはMPVの利用が多かった。公共交通機関の利用が困難な場合があるため、今後も継続する必要がある。</p>

### 1-5 生活福祉資金の受付

低所得者、障害者及び高齢者世帯に対し、山口県社会福祉協議会が行う生活福祉資金の受付を行った。

#### (1) 生活福祉資金の貸付

事業報告	評価
<p>1 生活福祉資金の貸付 (1) 相談件数 363件【400件】</p>	<p>自立相談支援センターと連携を図りながら貸付する</p>

(2) 貸付件数 11件 (県社協貸付)【13件】 〔内訳〕 総合支援資金 0件【0件】 教育支援資金 2件【2件】 福祉資金 9件【11件】 不動産担保型生活資金 0件【0件】  2 臨時特例つなぎ資金の貸付 (1) 相談件数 4件【1件】 (2) 貸付件数 0件【0件】	ことにより、自立を促進できた。今後、償還に向けての支援も必要である。
--	------------------------------------

(2) 研修会等への参加

事業報告	評価
1 平成30年度市町社協生活福祉資金等担当職員研究協議会 平成30年11月27日 山口市 参加人員 1人	研究協議会や事例検討会等をとおして、様々な課題について対応する技能を身につけることができた。
2 生活福祉資金貸付事業中部ブロック事例検討会 平成30年 7月27日(第1回) 山口市 参加人員 1人 平成30年11月30日(第2回) 山口市 参加人員 1人 平成31年 2月27日(第3回) 山口市 参加人員 1人	
3 暮らしとところの合同相談会 平成30年11月28日 防府総合庁舎 参加人数 1人	

## 2 権利擁護事業

2,856,292円

### 2-1 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)

専門員、推進員、生活支援員等が協力し、日常生活上の判断が十分できない人や日常生活に不安のある人が、地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理等を支援した。

(1) 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の利用促進

事業報告	評価
1 相談者及び利用者への支援 (1) 専門員、推進員、生活支援員の設置	事業の周知により、問い合わせが増加した。

<p>           専門員 2人【 2人】            推進員 1人【 1人】            実稼動生活支援員 12人【11人】         </p> <p>(2) 活動状況</p> <p>①相談件数</p> <p>           問合せ 30件 【35件】            初回相談 17件 【28件】            相談援助 4,096件【3,989件】         </p> <p>②書類等預かりサービス 34件【32件】</p> <p>③日常的金銭管理サービス 47件【42件】</p> <p>(3) 書類預かりサービス現物調査(山口県社会福祉協議会実施)</p> <p>平成30年 6月27日 防府市文化福祉会館</p> <p>(4) 審査会(山口県社会福祉協議会)</p> <p>①事務局審査会</p> <p>           平成30年 5月16日 審査件数 1件            平成30年 6月20日 審査件数 2件            平成30年 7月 4日 審査件数 1件            平成30年 8月 1日 審査件数 4件            平成30年 9月 5日 審査件数 1件            平成30年11月21日 審査件数 2件            平成30年12月 5日 審査件数 2件            平成31年 2月 6日 審査件数 1件         </p> <p>②契約締結審査会</p> <p>平成30年11月29日 審査件数 2件 山口市 参加人員 2人</p> <p>③新規契約及び解約件数</p> <p>           新規契約 9件【17件】            解 約 4件【14件】         </p> <p>2 地域住民及び関係機関等への周知</p> <p>地域包括支援センター及び民生委員・児童委員にパンフレットを配布し説明を行った。</p> <p>3 必要に応じたケース会議等の実施</p> <p>利用者を取り巻く状況や発生した課題に対して、利用者の意思を尊重した上で、関係者同士で支援の方向性を共有するためのケース会議に参加した。</p> <p>4 専門員、推進員及び生活支援員の資質向上</p> <p>(1) 専門員会議</p>	<p>           利用者の意思の尊重と利益の保護のため、利用者と共に考え、各関係機関と連携し支援を行った。自宅訪問などアウトリーチを積極的に行うことで個別支援の充実を図った。その結果、契約後の支援(訪問、電話、手続き等)である相談援助件数は前年度に比べて増加した。         </p> <p>           今後の課題として、相談件数の増加に伴い、個別支援の質の安定と生活支援員を含めた支援者の充実が必要である。         </p> <p>           ケース会議に参加することで利用者と各関係機関内での支援の方向性が明確となり、包括的な支援につながった。         </p>
---	---

平成30年 7月31日	山口市	参加人員	2人	<p>県社協主催の研修会に参加し、各市町社協と事業に関して情報共有を行った。</p> <p>生活支援員の研修会において、精神疾患について正しい認識をして、日頃の支援を見直すきっかけとなった。</p>
平成31年 1月11日	山口市	参加人員	1人	
平成31年 3月11日	山口市	参加人員	2人	
(2) 専門員・推進員・生活支援員研修会等				
平成30年 4月25日	山口県地域福祉権利擁護事業新任担当者研修会			
	山口市	参加人員	2人	
平成30年 7月17日～18日	専門員実践力強化研修会 I		東京都	
		参加人員	1人	
平成30年12月10日～11日	中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修会			
	鳥取市	参加人員	2人	
平成31年 2月 8日	市町社協地域福祉権利擁護事業推進員会議			
	山口市	参加人員	1人	
平成31年 3月 8日	現任生活支援員研修会			
	防府市文化福祉会館	参加人員	9人	
	演題「精神疾患を持つ方への関わり方」			
	講師	山口県山口健康福祉センター防府支所	職員	

## 2-2 法人成年後見受任事業

後見人が必要な状況にもかかわらず、親族による後見を受けられなく、経済的な事情から他の後見人を得られない人のために、後見人として5件、保佐人として1件の財産管理や身上監護の後見業務を行った。

### (1) 法人成年後見受任事業の利用促進

事業報告		評 価
1 新規問合せ	5件【 2件】	市地域包括支援センターに市長申立ての後見人として受任できることを周知した。
2 受任件数	6件【 5件】	
新規	1件【 0件】	
終了	0件【 0件】	
3 後見業務回数	64回【 60回】	
4 相談件数	333件【346件】	

(2) 関係機関との協力体制の構築

事業報告	評価
法人成年後見人として円滑な支援ができるよう関係機関との協力体制の構築に努めた。	関係機関と連携することにより、被後見人に寄り添った支援ができた。

(3) 法人成年後見支援センター（山口県社会福祉協議会）との連携

事業報告	評価
山口県権利擁護人材育成合同研修会 平成30年12月25日                      山口市    参加人員    2人 市町社協法人成年後見連絡会議 平成31年 3月11日                      山口市    参加人員    2人	県内社協の支援状況や成年後見制度利用促進基本計画の取り組みについて情報共有できた。

## 2-3 権利擁護・成年後見センター（仮称）の構築

(1) 成年後見制度の周知

事業報告	評価
広報紙「社協だより防府」や医師会による市民研修会で制度について周知した。 防府医師会在宅医療推進事業市民研修会 「みんなで考えよう 安心な生活 知って得する成年後見制度」 平成30年11月25日                      ルルサス防府    参加人員    1人	地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について市民に周知することができた。

(2) 地域連携ネットワークづくり

事業報告	評価
成年後見制度利用促進基本計画に関する学習Ⅰ 平成30年 6月29日                      山口市                      参加人員    1人 成年後見利用促進に係る市町村セミナー 平成30年12月 2日                      広島市                      参加人員    1人 成年後見利用促進検討会 平成31年 2月19日                      防府市役所                      参加人員    1人 成年後見制度利用促進基本計画に関する学習Ⅱ 平成31年 3月 5日                      山口市                      参加人員    1人	成年後見制度利用促進利用促進計画を学習し、地域連携ネットワークの役割と機能について学ぶことができた。

(3) 先進地視察

事業報告	評価
呉市社会福祉協議会権利擁護センター視察 平成31年 2月28日 広島県呉市 参加人員 1人	視察により権利擁護センターの設立までの経緯と役割を理解することができた。今後のセンター設立の参考となった。

3 生活困窮者自立支援事業

9,768,123円

3-1 防府市自立相談支援センターの充実強化

生活保護に至る前の段階の自立支援策を強化するために平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づいて、市からの委託を受けて防府市自立相談支援センターを運営して事業を実施した。

(1) 自立相談支援センター及び制度の周知

事業報告	評価
広報紙「社協だより防府」や市広報に事業内容を掲載した。また、相談窓口などにチラシを配布、その他地区民生委員児童委員協議会定例会で事業説明し、周知に努めた。	チラシを持参する相談者や民生委員からの紹介が多く、広報の成果があったと思われる。引き続き周知に努めたい。

(2) 自立相談支援事業の実施

事業報告	評価
1 相談件数 7,851件【11,089件】	国の指針は未達 ※10万都市の場合 相談者数 26人/月 登録者数 13人/月 ※防府市10万人当たり 相談者数 14.9人/月 登録者数 5.2人/月
2 相談者数 207人【160人】	
3 登録者数 75人【103人】	
4 支援決定数 72人(プラン策定者)【90人】	
5 就職者数 31人【29人】	

(3) 住居確保給付金の支給

事業報告		評 価
1 相談件数	21件【14件】	家賃を給付することで、相談者が安心して就労や就職活動をする事ができた。
2 申請件数	7件【7件】	
3 決定件数	7件【7件】	

(4) 一時生活支援事業の実施

事業報告		評 価
1 支援者数	7人(10件)【5人(6件)】	住居喪失者にホテル等で宿泊、食事の支援を行いながら、就職やその他解決策につなげることができた。
2 利用期間		
1泊2日	3人【3人】	
2泊3日	2人【0人】	
3泊4日	4人【2人】	
4泊5日	1人【0人】	
5泊6日	0人【0人】	
7泊8日	0人【1人】	

(5) 家計改善支援事業の実施

事業報告		評 価
1 支援者数	6人【5人】	収支のバランスが崩れているため、借金を繰り返すなど、生活に困窮してしまう相談者に対して家計収支の改善を行い、自立した生活を送るように支援することができた。
2 弁護士相談実績	0件【0件】	

(6) 就労訓練事業の推進

事業報告	評 価
農業等の季節求人事業所や短期間・短時間求人事業所、その他実績のある事業所を訪問した。	中間就労事業所として登録を促すが、登録の難しさ

	などの理由で登録までには至らなかった。行政との連携が必要である。
--	----------------------------------

(7) 住宅確保の推進

事業報告	評価
不動産会社に対して事業説明することで、連携して入居困難者の物件探しを行った。	不動産会社に事業説明をして理解を得ることができ、入居困難者に住居を確保することができた。

(8) 関係機関との連携

事業報告	評価
1 自立相談支援事業支援調整会議の開催 毎月第4木曜日 防府市文化福祉会館 参加人員 7人	市、ハローワーク、県社協、市社協、自立相談支援センターにより状況報告、相談者の推移、相談者の支援概況等を情報共有し協議することができた。
2 防府地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 平成30年 5月25日 (第1回) ハローワーク防府 参加人員 2人 平成31年 3月 1日 (第2回) ハローワーク防府 参加人員 2人	市、ハローワーク、労働局、ほうふ若者サポートステーションと情報を共有し、連携することができた。
3 3地区(山口、周南、防府)連絡協議会の開催 未開催	3地区の日程調整ができず開催できなかった。

(9) 相談体制の構築

事業報告	評価
山口県による生活困窮者自立支援制度ヒアリング 平成30年 9月18日 防府市役所 参加人員 1人 生活困窮者自立支援事業支援員研修会 平成30年11月 9日 山口市 参加人員 3人	会議等に参加することにより、関係機関とのネットワークを構築することができた。



生活困窮者自立支援全国研究交流大会 平成30年11月10日～11日 熊本県 参加人員 1人	
第2回生活福祉資金貸付事業中部ブロック事例検討会 平成30年11月30日 山口市 参加人員 1人	
生活困窮者自立支援事業支援員研修会 平成31年 2月 1日 山口市 参加人員 2人	
第3回生活福祉資金貸付事業中部ブロック事例検討会 平成31年 2月27日 山口市 参加人員 1人	

### 3-2 生活困窮者に対する支援

防府市自立相談支援センターへの相談者に市からの委託以外の支援を実施した。

#### (1) 無料職業紹介事業の推進

事業報告							評 価																																																																									
<p>防府市自立相談支援センターとして職業紹介事業所を新設し、取り扱い職種の種類等を「就労訓練事業としての職業紹介事業」とした。</p> <p>業種別就職実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">種別</th> <th>軽作業</th> <th>製造</th> <th>事務</th> <th>宿直</th> <th>その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>雑 役</th> <th></th> <th></th> <th>警 備</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">求人数</td> <td>男</td> <td>11【16】</td> <td>0【2】</td> <td>0【0】</td> <td>0【2】</td> <td>0【0】</td> <td>11【20】</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【3】</td> <td>0【3】</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">求職数</td> <td>男</td> <td>0【9】</td> <td>0【2】</td> <td>0【0】</td> <td>0【2】</td> <td>0【0】</td> <td>0【13】</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>2【0】</td> <td>0【2】</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">紹介数</td> <td>男</td> <td>0【9】</td> <td>0【2】</td> <td>0【0】</td> <td>0【2】</td> <td>0【0】</td> <td>0【13】</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【2】</td> <td>0【2】</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">就職者数</td> <td>男</td> <td>0【9】</td> <td>0【2】</td> <td>0【0】</td> <td>0【2】</td> <td>0【0】</td> <td>0【13】</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> </tr> </tbody> </table>							区分	種別	軽作業	製造	事務	宿直	その他	合計	雑 役			警 備		求人数	男	11【16】	0【2】	0【0】	0【2】	0【0】	11【20】	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【3】	0【3】	求職数	男	0【9】	0【2】	0【0】	0【2】	0【0】	0【13】	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	2【0】	0【2】	紹介数	男	0【9】	0【2】	0【0】	0【2】	0【0】	0【13】	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【2】	0【2】	就職者数	男	0【9】	0【2】	0【0】	0【2】	0【0】	0【13】	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	<p>就労訓練事業として職業紹介事業の許可を受けたことにより、長時間就労が難しい生活困窮者の中間就労に結び付けることができた。</p>
区分	種別	軽作業	製造	事務	宿直	その他			合計																																																																							
		雑 役			警 備																																																																											
求人数	男	11【16】	0【2】	0【0】	0【2】	0【0】	11【20】																																																																									
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【3】	0【3】																																																																									
求職数	男	0【9】	0【2】	0【0】	0【2】	0【0】	0【13】																																																																									
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	2【0】	0【2】																																																																									
紹介数	男	0【9】	0【2】	0【0】	0【2】	0【0】	0【13】																																																																									
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【2】	0【2】																																																																									
就職者数	男	0【9】	0【2】	0【0】	0【2】	0【0】	0【13】																																																																									
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】																																																																									

(2) 緊急要援護者への資金支給の実施

事業報告	評価
防府市自立相談支援センターに登録している生活困窮者に対して、就職に関わる資金や生活に関する緊急を要する支援を行った。	貸付ではなく支給することにより、生活を立て直そうとしている本人の負担を軽減することができた。

(3) 食糧支援の体制づくり（フードバンク）

事業報告	評価
フードバンクについて広報紙「社協だより防府」で広報するとともに、クリーンセンターで行われたエコまつりの会場でフードバンクについてのチラシを配布し、周知を図った。 愛情防府フリーマーケットにおいてフードドライブの受付をした。 フードバンク山口と連携し、フードバンクポストをスーパーに設置して定期的に回収を行い、生活困窮者に食糧を提供した。	市民の方から食品の寄贈について問合せが増えた。 フードドライブでは、34件（302個）の食料の持ち込みがあり、関心度が高く、体制づくりの充実が必要である。

## 4 高齢者能力開発情報センター事業

0円

高齢者の能力の開発や向上を図るため、各種相談に応じるとともにその能力に応じた就労斡旋の機会の確保及び高齢者の生きがい対策に資するために実施した。

(1) 就労斡旋事業及び福祉情報等サービス事業の推進

事業報告	評価
求人の開拓、事業の啓発及び高齢者に関する情報等を広報紙「社協だより防府」に掲載して啓発した。	求職の問合せはあるが求人の問合せはない。

(2) 高齢者無料職業紹介所事業の推進

事業報告	評価
65歳以上の高齢者への求職申し込みに対して、就労の場を提供した。 1 高齢者求人求職相談の受付 (1) 開設日数 244日【244日】 (2) 相談件数 2件【5件】	短期の求人はあったが、常勤の求人はなかった。 常勤の求人がないことから求職者数も少なかった。

2 求職登録者の年齢及び男女別数

年齢別 区分	65歳 ～69歳	70歳 ～74歳	75歳以上	計
男	4【0】	0【0】	0【1】	4【1】
女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】
合計	4【0】	0【0】	0【1】	4【1】

3 業種別就職実績

種別 区分	軽作業 雑役		家事手伝い 留守番	事務	宿直 警備	その他	合計
	求人数	男	10【15】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】
求職数	男	9【4】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	9【4】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】
紹介数	男	9【4】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	9【4】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】
就職者数	男	9【4】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	9【4】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】

## 5 資金貸付事業

411,984円

資金の貸し付けを通して経済的な自立を図ることによって、住民の地域での安定した生活ができるよう支援した。

(1) 高額療養費つなぎ資金の貸付

事業報告	評価
<p>保険診療に伴う医療費の支払いが困難な世帯に対し、必要な資金の立替貸付を行った。</p> <p>1 相談件数 2件【3件】</p> <p>2 貸付 件数 0件【1件】 金額 0円【686,314円】</p>	<p>貸付の相談は受けたが、貸付の実施までには至らなかった。</p>

<p>3 償 還</p> <p>件 数 0件【1件】</p> <p>金 額 0円【686,314円】</p>	
--	--

(2) 小口福祉資金の貸付

事業報告	評 価
<p>低所得世帯が様々な事情により不時の出費が必要となった場合に貸付を行った。</p> <p>1 相談件数 171件【203件】</p> <p>2 貸 付</p> <p>件 数 15件【19件】</p> <p>金 額 380,000円【520,000円】</p> <p>3 償 還</p> <p>件 数 47件【65件】</p> <p>金 額 337,100円【562,000円】</p>	<p>貸付により、一時的な出費に対応でき、民生委員につなげることにより見守り体制ができた。</p>

(3) 介護サービス費（住宅改修・福祉用具購入）立替金の貸付

事業報告	評 価
<p>介護保険被保険者が居宅生活を営むうえで必要な住宅改修及び福祉用具購入費の一部立替を行った。</p> <p>1 住宅改修費立替金</p> <p>(1) 相談件数 1件【2件】</p> <p>(2) 貸 付</p> <p>件 数 0件【2件】</p> <p>金 額 0円【350,460円】</p> <p>(3) 償 還</p> <p>件 数 0件【4件】</p> <p>金 額 0円【445,114円】</p> <p>2 福祉用具購入費立替金</p> <p>(1) 相談件数 1件【3件】</p> <p>(2) 貸 付</p> <p>件 数 1件【3件】</p>	<p>介護保険が適応される支払いについて、福祉用具購入の立替金の貸付をすることにより自立した生活が確保できた。</p>

金額 23,328円【70,124円】	
(3) 償還	
件数 1件【4件】	
金額 23,328円【114,836円】	

(4) 生活安定対策資金の貸付

事業報告	評価
貸付なし	

**【共同募金事業】**

15,741,511円

**1 一般共同募金配分金事業**

山口県共同募金会からの配分金により、高齢者、障害者・児、児童・青少年福祉及び福祉育成・援助活動等に対し、次の事業を実施した。

(1) 老人福祉活動事業の推進

事業報告	評価
<p>1 敬老の日記念行事等助成事業</p> <p>(1) 地区社会福祉協議会主催による記念行事等へ助成 9月17日の敬老の日前後に地区社会福祉協議会単位（7地区）及び単位自治会（8地区）で実施される敬老の日記念行事等に対して助成した。</p> <p>(2) 社会福祉施設主催による記念行事等へ助成 市内5か所の特別養護老人ホーム、1か所の有料老人ホームで実施される敬老の日等記念行事に対して助成した。</p> <p>2 防府市老人クラブ連合会の支援 防府市老人クラブ連合会に活動費を助成し活動を支援した。</p> <p>3 老人週間の啓発 関係機関及び老人福祉施設等に老人福祉週間啓発ポスターを掲示し、啓発を図った。 掲示場所 市内215か所【市内215か所】</p>	<p>地区社協等に敬老の日記念行事等の開催を促し、75歳以上の方へお祝いの気持ちをお伝えすると同時に、社会参加、交流の場を提供した。地区社協役員等からの相談に応じ、実情に応じた敬老行事の運営について支援した。</p> <p>関係機関や商業施設、公共施設等にポスターを掲示し、啓発に努めた。</p>

(2) 障害者・児福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
<p>1 新規障害者手帳取得者及び新規療育手帳A取得者の支援 65歳未満の障害者手帳取得者及び療育手帳A取得者の新規取得時に支援金を支給し支援した。 対象者数 31人【28人】</p> <p>2 障害者福祉団体等の支援 市障害福祉団体連合会、自閉症児（者）親の会に活動費を助成して活動を支援した。</p> <p>3 障害者スポーツ振興事業の支援 第19回防府車椅子・FIDバスケットボール大会（平成30年11月25日）の開催にあたり助成して大会を支援した。</p> <p>4 障害児童・生徒への卒業記念品贈呈 平成31年 2月 8日 卒業生を送る会 アスピラート防府 小学校卒業生（目覚時計） 38人【42人】 中学校卒業生（腕時計） 32人【35人】</p>	<p>障害がある児童・生徒の卒業を祝い、卒業記念品を贈呈して門出を祝福した。</p>

(3) 児童・青少年福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
<p>1 新生児の支援 赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、母子保健推進員の協力を得て生後2か月児の家庭訪問に際し、絵本を2冊ずつ贈呈した。 人 数 861人【977人】</p> <p>2 児童及び青少年福祉団体の支援 防府市子ども会育成連絡協議会、防府市里親会、社会を明るくする運動、防府スカウト協議会に活動費を助成して活動を支援した。</p> <p>3 海水浴場へ救急薬品贈呈 平成30年 7月 7日 2か所（富海及び野島海水浴場）</p>	<p>子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止につながっている。</p> <p>子育て支援のため問題の早期発見・早期対応のため関係機関との連携につながっている。</p>

<p>4 小学校新入学児童のお祝品贈呈 小学校の平成31年度に入学する新入学児童全員に対し、連絡帳入りクリアケースを贈呈した。 贈呈数 1,100セット【1,080セット】</p>	<p>連絡帳等を活用して児童、学校及び家庭とのつながりを強化できた。</p>
<p>5 児童福祉週間の啓発 関係機関及び児童福祉施設等に児童福祉週間啓発ポスターを掲示し、啓発を図った。 掲示場所 市内 106か所【106か所】</p>	<p>関係機関や商業施設、公共施設等にポスターを掲示し、啓発に努めた。</p>

(4) 福祉育成・援助活動事業の推進

事業報告	評価																																																										
<p>1 地区社会福祉協議会等地域福祉活動の支援 (1) 地区社会福祉協議会だより発行助成</p> <table border="0"> <tr><td>牟礼地区社会福祉協議会</td><td>6,200部【6,150部】</td></tr> <tr><td>松崎地区社会福祉協議会</td><td>5,300部【5,200部】</td></tr> <tr><td>勝間地区社会福祉協議会</td><td>2,600部【2,600部】</td></tr> <tr><td>華浦地区社会福祉協議会</td><td>4,000部【4,000部】</td></tr> <tr><td>野島地区社会福祉協議会</td><td>100部【100部】</td></tr> <tr><td>新田地区社会福祉協議会</td><td>3,300部【3,300部】</td></tr> <tr><td>向島地区社会福祉協議会</td><td>800部【800部】</td></tr> <tr><td>中関地区社会福祉協議会</td><td>5,150部【5,100部】</td></tr> <tr><td>華城地区社会福祉協議会</td><td>6,200部【6,200部】</td></tr> <tr><td>西浦地区社会福祉協議会</td><td>1,400部【1,400部】</td></tr> <tr><td>右田地区社会福祉協議会</td><td>5,100部【5,100部】</td></tr> <tr><td>富海地区社会福祉協議会</td><td>1,200部【1,200部】</td></tr> <tr><td>小野地区社会福祉協議会</td><td>1,500部【1,500部】</td></tr> <tr><td>大道地区社会福祉協議会</td><td>2,000部【2,000部】</td></tr> </table> <p>(2) 地区社会福祉協議会へ防災研修費助成</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年 6月17日</td> <td>小野地区社会福祉協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>小野地区全域</td> <td>参加人員 250人【400人】</td> </tr> <tr> <td>平成30年 9月13日</td> <td>中関地区社会福祉協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>華南園</td> <td>参加人員 52人【52人】</td> </tr> <tr> <td>平成30年10月15日</td> <td>富海地区社会福祉協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>富海公民館</td> <td>参加人員 60人【一人】</td> </tr> <tr> <td>平成30年11月 4日</td> <td>華城地区社会福祉協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>鍛冶屋河内地域</td> <td>参加人員 50人【85人】</td> </tr> <tr> <td>平成30年11月11日</td> <td>大道地区社会福祉協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>大道小学校</td> <td>参加人員 50人【50人】</td> </tr> </table>	牟礼地区社会福祉協議会	6,200部【6,150部】	松崎地区社会福祉協議会	5,300部【5,200部】	勝間地区社会福祉協議会	2,600部【2,600部】	華浦地区社会福祉協議会	4,000部【4,000部】	野島地区社会福祉協議会	100部【100部】	新田地区社会福祉協議会	3,300部【3,300部】	向島地区社会福祉協議会	800部【800部】	中関地区社会福祉協議会	5,150部【5,100部】	華城地区社会福祉協議会	6,200部【6,200部】	西浦地区社会福祉協議会	1,400部【1,400部】	右田地区社会福祉協議会	5,100部【5,100部】	富海地区社会福祉協議会	1,200部【1,200部】	小野地区社会福祉協議会	1,500部【1,500部】	大道地区社会福祉協議会	2,000部【2,000部】	平成30年 6月17日	小野地区社会福祉協議会			小野地区全域	参加人員 250人【400人】	平成30年 9月13日	中関地区社会福祉協議会			華南園	参加人員 52人【52人】	平成30年10月15日	富海地区社会福祉協議会			富海公民館	参加人員 60人【一人】	平成30年11月 4日	華城地区社会福祉協議会			鍛冶屋河内地域	参加人員 50人【85人】	平成30年11月11日	大道地区社会福祉協議会			大道小学校	参加人員 50人【50人】	<p>広報紙の発行により、住民に地域に密着した福祉情報等が提供された。</p> <p>平常時からの防災意識を高めるため、地区社協単位で研修会等が開催された。</p>
牟礼地区社会福祉協議会	6,200部【6,150部】																																																										
松崎地区社会福祉協議会	5,300部【5,200部】																																																										
勝間地区社会福祉協議会	2,600部【2,600部】																																																										
華浦地区社会福祉協議会	4,000部【4,000部】																																																										
野島地区社会福祉協議会	100部【100部】																																																										
新田地区社会福祉協議会	3,300部【3,300部】																																																										
向島地区社会福祉協議会	800部【800部】																																																										
中関地区社会福祉協議会	5,150部【5,100部】																																																										
華城地区社会福祉協議会	6,200部【6,200部】																																																										
西浦地区社会福祉協議会	1,400部【1,400部】																																																										
右田地区社会福祉協議会	5,100部【5,100部】																																																										
富海地区社会福祉協議会	1,200部【1,200部】																																																										
小野地区社会福祉協議会	1,500部【1,500部】																																																										
大道地区社会福祉協議会	2,000部【2,000部】																																																										
平成30年 6月17日	小野地区社会福祉協議会																																																										
	小野地区全域	参加人員 250人【400人】																																																									
平成30年 9月13日	中関地区社会福祉協議会																																																										
	華南園	参加人員 52人【52人】																																																									
平成30年10月15日	富海地区社会福祉協議会																																																										
	富海公民館	参加人員 60人【一人】																																																									
平成30年11月 4日	華城地区社会福祉協議会																																																										
	鍛冶屋河内地域	参加人員 50人【85人】																																																									
平成30年11月11日	大道地区社会福祉協議会																																																										
	大道小学校	参加人員 50人【50人】																																																									

平成30年12月21日 牟礼地区社会福祉協議会  
 牟礼公民館 参加人員 80人【50人】  
 平成31年1月12日 右田地区社会福祉協議会  
 右田公民館 参加人員 53人【55人】  
 平成31年1月19日 野島地区社会福祉協議会  
 野島小・中学校 参加人員 50人【70人】  
 平成31年1月25日 華浦地区社会福祉協議会  
 華浦公民館 参加人員 60人【35人】  
 平成31年2月17日 華城地区社会福祉協議会  
 華城公民館 参加人員 130人【85人】  
 平成31年2月25日 佐波地区社会福祉協議会  
 佐波公民館 参加人員 59人【51人】  
 平成31年2月27日 勝間地区社会福祉協議会  
 勝間公民館 参加人員 40人【32人】  
 平成31年3月6日 松崎地区社会福祉協議会  
 松崎公民館 参加人員 54人【60人】

2 被災世帯の支援

火事見舞い 4件（全焼3件、半焼1件）  
 【4件（全焼3件、半焼1件）】

3 生活困窮者支援事業

緊急に必要な資金を支給 17件（105,370円）

4 団体活動の支援

- (1) 防府市幼稚園連盟へ福祉教育推進のための助成
- (2) 防府市保育協会へ福祉教育のための助成
- (3) 地域自治会連合会へ自治会福祉部活動推進のための助成
- (4) 地区民生委員児童委員協議会研修のための助成

平成30年4月5日 中関地区民生委員児童委員協議会  
 障害者支援施設華南園 参加人員 22人【56人】

平成30年4月11日 大道地区民生委員児童委員協議会  
 サービス付高齢者向け住宅「あいの里」  
 参加人員 15人【15人】

平成30年4月14日 向島地区民生委員児童委員協議会  
 指定障害者支援施設ゆうあい  
 参加人員 6人【7人】

平成30年6月20日 勝間地区民生委員児童委員協議会  
 済生会山口ケアセンター

早急にライフラインの復旧が必要な生活困窮者への対応ができ、就労に向けての一時的な支援につながった。

地区民児協の研修を支援し、民生・児童委員の資質向上を図った。研修内容について地区民児協の相談に応じるとともに、研修受け入れ先の調整等の支援も行った。



	参加人員	11人【11人】
平成30年 6月29日	華浦地区民生委員児童委員協議会	
THK(株)山口工場	参加人員	15人【12人】
平成30年 7月10日	松崎地区民生委員児童委員協議会	
ふうき国分寺	参加人員	20人【20人】
平成30年 7月13日	牟礼地区民生委員児童委員協議会	
防府市文化福社会館	参加人員	55人【19人】
平成30年 7月24日	小野地区民生委員児童委員協議会	
防府市文化福社会館	参加人員	25人【51人】
平成30年10月24日～25日		
	華城地区民生委員児童委員協議会	
いわみ福祉会	参加人員	14人【15人】
平成30年10月29日	右田地区民生委員児童委員協議会	
益城町社会福祉協議会	参加人員	14人【24人】
平成30年11月10日	新田地区民生委員児童委員協議会	
はなのうら・華の浦	参加人員	15人【15人】
平成30年12月 3日	佐波地区民生委員児童委員協議会	
防府海北園	参加人員	18人【18人】
平成30年12月10日	西浦地区民生委員児童委員協議会	
防府海北園	参加人員	10人【12人】
平成31年 2月27日	富海地区民生委員児童委員協議会	
富海公民館	参加人員	58人【 9人】

## 5 市民手話講習会の開催

手話の入門編として、市民手話講習会を開催した。

### ・昼の部

平成30年 4月11日～ 5月16日（6回）

防府市文化福社会館 参加延人員 24人【60人】

### ・夜の部

平成30年 4月11日～ 5月16日（6回）

防府市文化福社会館 参加延人員 76人【78人】

## 6 防府市障害者福祉啓発セミナーの開催

平成30年12月 4日 防府市文化福社会館

参加人員 73人【70人】

[内容]

受講者が聴覚障害者とのふれあいの中から手話を学び、聴覚障害についての理解やボランティアの意義について共に考える場づくりをし、障害者福祉の高揚を図った。講習会后ボランティア団体の会員になり、手話奉仕員養成講座につながる受講者もいた。

今後も開催時期や周知方法を見直すなど、受講者の増加に努めたい。

ノーマライゼーションの理念に基づいて障害者が地域社会で安心して生活できるよう支援等について理解

<p>講演 演題「見守り愛、 障害者も安全に暮らせるまちづくり」 講師 NPO 法人みらいプラネット (山口県難治性血管奇形相互支援会) 管理者 有富 健 氏</p>	を深めた。
---	-------

(5) ボランティア活動育成事業の推進

事業報告	評 価
<p>1 ボランティア団体の活動助成 防府ボランティア連絡会に活動費を助成して活動を支援した。</p> <p>2 ボランティア体験月間の啓発活動 ボランティア体験月間の啓発として、7～8月の夏休みに親子福祉体験教室及びワークキャンプ（施設体験学習）を開催した。</p> <p>(1) 親子福祉体験教室 個人ボランティアの協力を得て、小学生の親子を対象に福祉体験をする機会として開催した。 平成30年 8月 4日 防府市文化福祉会館 参加人員 25人【97人】</p> <p>(2) ワークキャンプ（施設体験学習）の開催 社会福祉施設で利用者及び施設職員とのふれあいやボランティア活動を体験することによって福祉に対する理解を深めるために開催した。 平成30年 8月 2日・3日 福祉型障害児入所施設 華の浦学園 参加人員 2人【4人】</p>	<p>児童の健全育成を図るとともに児童やその保護者のボランティア精神を養った。今後もボランティア体験月間を通して企業等とも協働で実施し、関係づくりに繋がるような企画内容にしていきたい。</p> <p>思いやりの心、助け合いの精神についての学びを促進した。また、次代を担う中学生及び高校生が社会福祉施設での活動を通して福祉の仕事を体験的に理解し、自らの生き方などについて考える機会を提供することができた。</p> <p>さらに生徒の参加の増加を図るため、事業内容の工夫や周知の方法を考えていきたい。</p>

## 2 歳末たすけあい配分金事業

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、12月1日から31日までの1か月間実施される歳末たすけあい運動における募金を山口県共同募金会から配分金を受けて、次の事業を実施した。

(1) 生活困難世帯の支援

事業報告	評価
生活困難世帯（生活保護世帯を除く）に対して、義援金を配付した。  在宅の生活困難世帯 127世帯【138世帯】	民生・児童委員の協力を得て調査や配付を行うことができ、見守り活動や実態把握の一助となった。

(2) 児童養護施設の支援

事業報告	評価
児童養護施設入所児と退所する児童に対して、義援金を配付した。  1 市内社会福祉施設入所児童 66人【72人】  2 児童養護施設退所児への支援 6人【6人】	児童養護施設入所児童、退所児へ義援金を贈ることで地域の支え合いの気持ちが届けられた。

(3) ふれあい・いきいきサロン活動の支援

事業報告	評価
年末年始にクリスマス会、忘年会及び新年会を兼ねて開催されるふれあい・いきいきサロンに対し、義援金（市内共通商品券）を配付した。  ふれあい・いきいきサロン活動への支援 103か所【96か所】	サロン活動の活性化と運営の安定化を図ることができた。

(4) 地域福祉活動の支援

事業報告	評価
歳末の時期に在宅ひとり暮らし高齢者等に対し、地区の特性を生かした事業を展開してもらえるよう地区社会福祉協議会の事業活動に配分した。  1 地域福祉活動への支援 15地区社会福祉協議会【15地区社会福祉協議会】  2 対象者 7,045人【6,777人】	地区社協が実施する歳末たすけあい運動を支援し、地域の見守りや支え合いの活動を促進した。

## 【団体事務受託業務】

### (1) 防府市民生委員・児童委員協議会事務局の業務

事業報告	評 価
<p>1 防府市民生委員・児童委員協議会の活動支援  防府市民生委員・児童委員協議会の事務局を受託し、活動を支援した。</p> <p>(1) 定例理事会の開催  偶数月の第1水曜日</p> <p>(2) 部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉部会  役員会 平成30年 6月21日 防府市文化福祉会館  研修会 平成30年 6月26日  防府市文化福祉会館 参加人員 49人</li> <li>・障害者福祉部会  役員会 平成30年 4月20日 防府市文化福祉会館  研修会 平成30年 6月23日  防府市文化福祉会館 参加人員 59人</li> <li>・高齢者福祉部会  役員会 平成30年 4月27日 防府市文化福祉会館  研修会 平成30年 9月25日  防府市文化福祉会館 参加人員 64人</li> </ul> <p>2 研修会等へ職員引率  平成30年 7月11日  第1回市町地区民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会  山口市 参加人員 2人  平成30年 7月30日 現任民生委員児童委員研修会  山口市 参加人員 1人  平成30年10月18日 中堅民生委員児童委員研修会  山口市 参加人員 1人  平成30年11月 2日 児童委員・主任児童委員研修会  山口市 参加人員 1人  平成31年 3月 6日  第2回市町地区民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会  山口市 参加人員 1人</p>	<p>事務局として定例理事会の運営や各部会活動を支援し、市民児協全体の活動を促進した。</p> <p>市担当課と協力して民生・児童委員の各種研修会参加を支援し、資質の向上に寄与した。</p>

(2) 山口県共同募金会防府市共同募金委員会事務局の業務

事業報告	評 価
<p>1 防府市共同募金委員会の開催</p> <p>(1) 運営委員会</p> <p>平成30年 6月 7日</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・運営委員・監事の選任について</li><li>・平成29年度収支決算について</li><li>・監査報告</li><li>・平成30年度戸別募金目標額(案)について</li><li>・平成30年度事務費収支予算(案)について</li><li>・審査委員会設置運営規程の一部改正について</li><li>・第9回赤い羽根全国ミーティング in やまぐちについて</li></ul> <p>平成30年 9月26日</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・防府市共同募金委員会委員及び副会長の選任について</li><li>・平成29年度共同募金による平成30年度配分の結果について</li><li>・赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動の実施について</li></ul> <p>平成31年 2月19日</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年度赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動の結果報告について</li><li>・平成31年度地域福祉活動助成事業(平成30年度第1回審査委員会承認状況)について</li></ul> <p>(2) 審査委員会</p> <p>平成30年 7月11日</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成31年度共同募金地域福祉活動助成(B配分)審査について</li><li>・平成31年度地域歳末たすけあい募金助成(C配分)審査について</li></ul> <p>平成31年 2月25日</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年度赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動の結果報告について</li><li>・平成31年度共同募金地域福祉活動助成(B配分)最終審査について</li><li>・平成31年度地域歳末たすけあい募金助成(C配分)審査について</li></ul>	<p>地域の支援者と協力しながら募金活動を推進したことにより、募金額が増加した。</p> <p>審査委員会による助成審査を行い、透明性の確保に努めた。</p>

2 監査会の開催

平成30年 4月12日

- ・平成29年度事業及び会計監査

3 共同募金活動の推進

- (1) 各種募金活動の推進
- (2) 各地区共同募金委員会活動の支援
- (3) 募金の集計及び管理

4 災害見舞金（義援金）の受付

- (1) 平成28年熊本地震義援金
- (2) 平成29年7月5日から大雨災害義援金
- (3) 平成30年大阪府北部地震義援金
- (4) 平成30年7月豪雨災害義援金
- (5) 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金